

令和元年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会

1 開催日時 令和元年7月23日(火)午後2時開会

2 開催場所 中央図書館 2階 第一会議室

3 出席委員

委員長	武内 喜美子	副委員長	北原 政志
委員	白井 由美子	委員	鎗田 典子
委員	大野 俊江	委員	津村 千鶴子
委員	高橋 和子	委員	光武 賢一郎
委員	吉村 真理子		

(欠席委員) 山田 真衣 委員

4 出席職員

教育長	御園 朋夫	教育部参事 (生涯学習課長)	小阪 潤一郎
中央図書館長	嶋田 育子	平川図書館長	小堀 正雄
長浦おかのうえ 図書館長	藤尾 善之	中央図書館 庶務班長	今坂 公一
中央図書館 奉仕班長	小倉 かおり	中央図書館 主査	上村 千恵

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	3人
傍聴人数	0人

6 議 題

- (1) 図書館協議会副委員長の選出について
- (2) 平成30年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について
- (3) 令和元年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について
- (4) その他

7 議 事

## 議題（１）図書館協議会副委員長の選出について

武内委員長： 副委員長だった小川委員が３月末で退任されたので、図書館協議会運営規則第２条により、図書館協議会副委員長の選出を諮りたい。ご意見がありましたらお願いします。

光武委員： 事務局一任で良いと思います。

武内委員長： 光武委員より事務局一任という意見がありましたが、他に意見はありますか。

(異議なしの声)

武内委員長： それでは、事務局で何か案がありますか。

事務局（今坂班長）： 委員長より事務局への確認がございました。それでは前副委員長の小川委員の後任として今年度より委員に就かれた、北原委員に副委員長をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員： 全員拍手

武内委員長： 拍手で承認されたということで、それではよろしく願いいたします。

事務局（今坂班長）： それでは承認されましたので、第１７期袖ヶ浦市立図書館協議会副委員長を北原委員にお願い致します。

武内委員長： それでは議題を進めさせていただきます。

## 議題（２）平成３０年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

武内委員長： まず事務局から、全体的な説明を受けましてそれから質疑応答、評価という手順で進めたいと思います。では事務局お願いいたします。

事務局（藤尾館長）より資料に基づき、内部での点検、評価結果について説明

武内委員長： ありがとうございます。事務局より全体的な説明を受けました。既に資料には目を通してきて頂いていると思いますので、ご意見、ご質問

がありましたらお願いします。

津村委員： 11ページの⑭のブックスタートの項目の達成率が82.7%となっていることについて伺います。ブックスタートの事業では、4か月児教室に来ている方に対して絵本の読み聞かせ、絵本の配布をしており、教室に来ている人に対しては100%配布していますが、教室に来ない人に対しては配布ができません。このことを踏まえて、評価の仕方、数値の指標としてどうでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 説明が不十分で、申し訳ありません。達成率は、対象児童の総人数に対する配布数という形で算出しているため、今回の数字となりました。4か月児教室に来た方について100%配布できているというのは、今おっしゃって頂いた通りです。教室に来られない人には、中央図書館でブックスタートパックを配布するという方法でフォローを行っております。配布率だけみると年々下がっているように見えますが、市の人口増とともに対象児童数も増えておりますので、配布した実数は平成28年度が244個、平成29年度が451個、平成31年度が477個と年々増えております。

津村委員： 来なかった人に対して図書館で配布していることについて、保護者の方へは伝わっているのでしょうか。4か月児教室時には保健師よりブックスタートについての案内がされているようですが。

事務局（小倉班長）： 健康推進課で郵送する4か月児教室の案内の際に、図書館で作成したブックスタートの案内もお送りしております。

事務局（小阪生涯学習課長）： 市で配布している小冊子「子育てハンドブック」にも、図書館サービスやブックスタートについての記載がされています。

津村委員： 色々な場面で周知していくことは、これからも必要だと思います。

武内委員長： 先進図書館の視察時にも、ブックスタートについて対象者も増えており大変だという話を聞いています。

津村委員： 袖ヶ浦市でも対象者が増え、午前と午後に分けて開催しています。

武内委員長： 他に意見はございますか。

大野委員： 出張おはなし会について、参加者も増えており、そういった意味では昨年度の課題をクリアできており、素晴らしい取り組みだと思いました。

市役所へは子連れの利用者が多いと感じています。新しいマンションなども建設され、子育て世代の転入も増えており、昨年度も行ったと聞いているが、チラシのポスティングなどのPRについても継続して行ってほしい。新しい取り組みについて大変すばらしいと思います。

光武委員： 市民登録率について、伺いたい事があります。この項目だけが目標に達しておらず、B評価となっています。資料では、新規登録者数の増の理由について、市の人口の増加と説明されていますが、ここ5年位、登録者数は毎年1,000人から1,100人位で大きな増減はありません。一方で、市の人口の推移をみていくと平成29年度から30年度にかけて890名位増えているのですが、例えば平成26年度から27年度にかけては32名しか増えていませんが、それでも1,000人位の新規登録がされています。このことから、市の人口が増加したから登録者が増えたと言ってしまうと、図書館の努力が見えてこない気がします。他にも要因があるから登録者が増えていて、10年未利用の除籍者分は毎年減っていくので登録率が増えることはないと思うのですが。この理由や課題について見直さないと、人口が増えた分登録者が増えて、除籍者分が減るという自然増と自然減だけになり、図書館で利用促進している努力が見えてこないと思います。確かに人口は増えているので、市民の年代の構成が変化しているなどの考察をしないと、本当の理由が見えてこないのではないかと思います。

事務局（藤尾館長）： 年間にだいたい1,000人程度の新規登録がありますが、その数は少しずつですが増えてきています。年間の新規登録が増えているのは図書館の取り組みと転入者などの市の人口増の両方が要因と事務局としては考えています。ただ転入者等、人口の伸び程には新規登録者数が増えていないことは確かであり、そのことは図書館としての課題だと考えています。子育て世代の転入者が増えているので、広報活動や乳幼児向けのサービスを拡充させることで登録者の増にもつながっていくのではないかと考えています。

事務局（嶋田館長）： 北側地区への転入者の増で就学前児童が多いのは事実ですが、具体的な年代別の数字について図書館の状況に合わせた数字が入手できていません。これは平成29年度と平成30年度の登録者数の比較ですが、0～6歳が67名増、7～12歳（小学生）が23名増、13歳～15歳（中学生）が86名減、16～18歳（高校生）が2名減、19歳～60歳が431名減、61歳以上が105名増となっており、登録者数はトータルで324名減となっています。来館者をみていると、30代～40代でお子さんのいらっしゃる方の方の来館がかなり減っているように思われます。同じ年代でもお子さんがいらっしゃる方は割と図書館との関わりがあって、お子さんと一緒に来館してご自分の本も借りる、ということがあられるようです。この傾向も含めて、

モバイル端末を利用した情報発信による利用促進にも力を入れていきたいと考えているところです。

光武委員： 毎年1,500名少なくなっていくことについて、年代別、性別、職業別等の統計があるかと思います。そういったデータがないと、それぞれの項目についての対応策の根拠がなくなってしまうと考えられます。それがこの表だけではみえてこなかったのも、そういった細やかな考察をしているのか伺いたいと思いました。

市民登録率の目標値が60%となっていますが、現時点で42.5%です。目標達成のためには11,000人程度の登録が必要だと思われ、毎年1,000人ずつ増えてもあと10年くらいかかる想定で達成が難しいと思われませんがどうでしょうか。

事務局（嶋田館長）： 確かに現時点ではハードルが高い目標値となっております。第3次図書館サービス網計画の後期の最終年度が令和2年度ということで来年度となっておりますので、第4次図書館サービス網計画策定の際に、目標値の精査をして設定してまいります。またその際に委員の皆様の意見を頂戴できればと思います。令和2年度まではこのままの数値とします。

大野委員： このことは今までの協議会でも話題にあがったかと思いますが、ここでの市民登録率には在勤や在学などの利用者数は含んでいないとのことですが、在勤在学の登録者も掲出していった方が良いと思います。

(複数の委員から同様の意見あり。)

光武委員： 別綴じ参考資料の12ページで他市の登録率をみると、市原市と木更津市だけ3年間増となっています。これは何かの参考にはならないでしょうか。登録率増のヒントになることがあるような気がします。

鎗田委員： 私も気になりました。利用登録の方法が袖ヶ浦市とは違うのでしょうか。市原市は行政区域も広く不便な地区もあるかと思いますが、それでもこれだけの登録者を増やしているのであれば何かあるのかもしれない。登録率の増えている自治体を参考にすることで、登録率の増につながるものがあれば良いと思います。

事務局（藤尾館長）： この資料につきましては、登録者の集計方法が自治体によって様々です。袖ヶ浦のように定期的に未利用者を除籍していない自治体もあると思われ。この指標は他市との比較でなく、自治体ごとの推移を参考にさせていただければと思って掲載したものです。集計方法の違いもあり登録

率そのものはあまり参考にできませんが、登録率が増えていることについては要因等含め、参考になることがあれば情報収集していきたいと思います。

武内委員長：他に何かありますでしょうか。

吉村委員：ほとんどの項目がA評価であり、課題に対して非常に細やかな取り組みをされているからこそその結果だと思われれます。それだけに市民登録率の評価が目立ってしまっている気もします。別綴じ参考資料の11ページ下に自治体内数、自治体外数という表記がありますが、どのような違いになるのでしょうか。

事務局（藤尾館長）：自治体内数というのが市民だけの登録者数をあらわしており、自治体外数というのが市外の数も含めた登録者数をあらわしています。

吉村委員：袖ヶ浦高校の生徒さんなど市内への在学者や在勤者は利用の登録ができるかと思いますが、そういった場合の市民でない方は数に入っていないということで良いのでしょうか。

事務局（藤尾館長）：袖ヶ浦市の集計方法では、在勤者及び在学者は含まれておりません。

吉村委員：市民と同様のサービスを提供しているのにもったいないような気がします。匝瑳市など数字が高いように見えます。

事務局（藤尾館長）：別綴じ参考資料の11ページの個人貸出登録率の欄で※印がついているところが、袖ヶ浦市と同じ集計方法で市民のみの登録率を出している自治体で、ついていない自治体は市外も含めた登録率をだしているということになります。

吉村委員：それでは同様の集計方法の自治体同士での情報交換が良いのでしょうか。佐倉市が同条件となるので機会がありましたら、情報交換してみてもはどうでしょうか。

高橋委員：利用券1枚につき、15冊まで借りられるかと思いますが。1冊で15冊借りられると家族で1冊登録すればよいということになるのかもしれませんが。WEBでの蔵書検索など十分な周知はされているのでしょうか。利用券へQRコードをつけて周知を図り、子どもの利用券から大人の利用につなげることができないのでしょうか。カードは1冊でも貸出率や利用率は増やすことができるかもしれませんが。利用券のデザイン、形式は以前と同じだと思いますが、

金融機関の通帳などを参考に、子供向けの可愛いデザインのものやそれとは別に大人向けのものがあるのも良いと思います。

武内委員長： 利用券作成に費用は発生しますか。

事務局（嶋田館長）： 利用者側の費用は発生しません。

事務局（藤尾館長）： 図書館では利用券を作成する予算が必要になります。

武内委員長： 予算があるのであれば今年度は無理かもしれませんが、来年度の変更について、検討しても良いかもしれません。

事務局（嶋田館長）： 利用券にQRコードをつける案は今までになかった新しい案です。今までも利用案内やチラシへQRコードを掲載したものを配布等行ってきました。利用券については、管理運営規則により様式も定められており、規則の改正等も必要となってくるので、今度の検討課題とさせていただきます。

高橋委員： 是非前向きに検討していただければと思います。もう1点ですが、今日大活字本を見せてもらって、見やすく借りてみたいと思いました。ただ配架の場所がわかりにくく感じました。館によってまちまちだとは思いますが、案内板など工夫が必要ではないかと思いました。

武内委員長： 入口のケースの中に大活字本のポスターがあったかと思いますが、そこに館内での配架場所をつけてはどうですか。

事務局（嶋田館長）： 今もポスターには案内図がついています。ただ館内で探した時に奥の方の分りにくい場所にあるので、案内板などで遠くからでも見えるような工夫をしたいと思います。

津村委員： おはなし会などの働きかけ、実際に参加人数も増えており素晴らしいことだと思います。現在代宿に児童館があるのですが、皆さんご存じでしょうか。利用者が少なく、閉鎖の危機にある状況です。もともとは代宿の住民の立ち上げた児童館のようですが、今は市の施設の位置づけだと聞いています。とにかく本の状態がひどく、利用者を増やしたいが事務職員が1名いるだけで事業等ありません。放課後や夏休みなどは小学生の利用もありますが、平日の昼間の利用者が全くいません。この場所を利用して、図書館の本を利用したおはなし会を開催してもらうのは難しいでしょうか。

事務局（小阪生涯学習課長）： 代宿児童館は扱いとして委託か指定管理か、市の直営ではなかったと記憶しています。

事務局（嶋田館長）： 夏休みや放課後は子どもたちの利用があるのですか。

津村委員： 小学生の利用はありますが、平日の日中の利用者がいません。子育て世代でも車を利用されない方、できない方も結構いらっしゃるから、バスでの利用も本数等により限られていることから、図書館などのおはなし会に行きたくても行けない方もいらっしゃいます。徒歩圏内にある児童館でおはなし会などがあつたら大変喜ばれると思いますので、市唯一の児童館を視野に入れて頂けると助かります。

事務局（嶋田館長）： 平日事務職が在駐しているのであれば、お話を伺ってみたいと思います。

白井委員： 学校への団体貸出について、学校司書の間で話題になることですが、セット貸し出しの内容で、本が古かったり、季節にそぐわなかったりするものがあるので、セット内容の見直しをしていただきたい。見直すことで貸し出し増につながっていくのではと思います。

事務局（嶋田館長）： 以前からセットが使いにくいという声は頂いております。セット貸し出しの本は、もともと図書館の除籍資料で、それを組み合わせで学校へセットで貸し出しているものですので、学校側で使いやすいような形で組み替えて頂けたらということで考えてはありました。夏休みに行く学校司書の研修でセット内容の変更ができないか準備、打ち合わせを進めてきましたが、時間が短く、セットの対象が膨大にあることから作業を短時間で終わらせることは難しいという結論に至りました。今後は学校から必要なテーマや要望を出して頂いて、今後どのように組み替えていけるかを考えていきたいと考えております。その際には助言をお願いいたします。

白井委員： 対応していただければ、貸し出しの増につながると思います。

北原委員： おはなし会の参加人数は大幅に増えており、全学校の全学年で開催していただいたのではないかと思います。学校でのおはなし会の際に素話をして頂いたが、まるでそこに絵本があるかのように集中して聞いていました。今の子どもたちはこういった経験がなく、動画やゲームの世界観に慣れてしまっている子が多いため、とても新鮮だったと思いますし、子供たちも大変喜んでいました。心を落ち着かせて次の授業に入ることができ、大変効果的であると感じました。また団体貸出の中でも読み物、絵本セットの貸出数も前年の4

倍近くの数をなっており、学校司書と図書館の意見交換をして取り組んでいる結果ではないかと感じました。

資料7 ページ②におはなし会と開催し、調べ学習の支援をとという記載がありますが、調べ学習とおはなし会では関連がないと思われるので、ここは読書についての支援等訂正が必要だと思います。

また6 ページの宿題おたすけコーナーについて、学校でも一人で宿題が終わらせられない子、また保護者の協力が得にくい子もおり、何か支援ができないか課題としていたところでした。この事業は学校と連携するとまた別の方法で提供していけるかもしれません。他の事業で高校生とのコラボもあるようなので、宿題おたすけコーナーにも高校生の協力があると良いかもしれません。実際にはどのようなことをされているのでしょうか。

事務局（小倉班長）： 宿題おたすけコーナーでは、宿題関連、特に工作に関する書籍を集めて展示をしております。職員を配置しているわけではありません。

鎗田委員： 平川図書館での話ですが、宿題関連で質問していた親子に対して、カウンターで詳しく丁寧な対応をされていて素晴らしいと思いました。

大野委員： 先日、平川公民館で中学生に対して宿題おたすけのような事業をロビーやっていたようですが。

事務局（小堀館長）： 図書館ではなく、平川公民館のこどもクラブで宿題をもってきてやりましょうという事がありました。

白井委員： 今年度は平岡でレファレンスデーを開催していただき、ありがとうございました。ポスターをコピーして幽谷分校の12名へ配布させて頂きました。保護者へも紹介したが反応、利用はどうだったのでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 毎年総合教育センターが調べ学習相談会を、中央図書館を会場に開催していて、その日は図書館としても利用が多くなります。1日しか開催していないということもあり、平岡図書室から会場まで来られない子のために今年は平岡で何かできないかという話がありまして、平岡小児童を対象にしたレファレンスデーを初めて開催してみたところでした。受付件数は3件でした。市内では学校でも調べ学習の説明会などを行っているので、そちらへの参加者が多いのかもしれませんが。先日開催したばかりということもあり、今度どうしていくかはこれから検討したいと思います。

白井委員： 開催が1日だけだと予定が合わないという声もありました。

大野委員： この日は確か終業式だったと記憶しています。その日程よりも、保護者との面談日であれば、保護者の予定もつきやすいかもしれません。

事務局（藤尾館長）： 7ページ②の文言について修正した方が良いというご意見を頂きましたが、こちらはサービス網計画の後期計画の文章をそのまま掲載したものですので、今回修正することは致しません。次の計画の策定段階で改善したいと思っておりますのでご了承ください。

武内委員長： 他にご意見等ございますでしょうか。

吉村委員： 30代～40代のお子さんのいらっしゃらない層の利用者が少ないという話がありましたが、駅に返却用ポストは設置していますか。

事務局（嶋田館長）： 中央図書館が開館した昭和61年に市内の袖ヶ浦駅、長浦駅、横田駅にブックポストを設置しましたが、駅のブックポストの利用が大変多くポストから溢れでたり、外側から手が届くような状態で返却されたり、紛失や、休日にも職員がポストの回収に行かないといけない等様々な状況になったこともあり、駅にブックポストがあれば便利であることは重々承知しておりますが、止む無く撤去致しました。

事務局（藤尾館長）： 国鉄からJRに変わる際に、無償で駅にポストを設置してもらえなくなったことが、撤去の直接の要因だったと聞いています。

北原副委員長： 資料14ページのトショロの庭 TeaTime の内容と、こういった効果があったかお聞かせください。

事務局（嶋田館長）： 社会教育推進員の企画の中庭活用事業の一環として、秋のトショロ月間に中庭で様々な事業をとということで実施致しました。来館者へのお茶のサービス、読んで欲しい絵本の読み聞かせ、封筒づくりを行いました。当日はおはなしのへやで紙花教室の開催もあり、それぞれのイベントの参加者同士での情報交換などもあり、相互に盛り上がったと思います。封筒づくりでは閲覧室に来ていた中学生男子の参加などいつもと違った風景も見られました。参加者は延べ132名でした。

武内委員長： 図書館は本を借りるだけの場所ではなく、楽しいイベントも多いですから周知を図り、沢山の方に利用していただけるようになると良いと思います。他にはございますか。

大野委員： 6 ページの取り組み内容の中で漫画について触れていますが、資料選定の基準の中でこれからは漫画も少しは取り入れていくという解釈でよろしいでしょうか。また漫画の購入例はありますか。

事務局（小倉班長）： 購入した例は今のところありませんが、サバイバルシリーズ等の学習漫画的な資料を昨年度から他市から借用などして、利用が多い資料については、児童担当者が購入について検討していく予定はあります。

白井委員： サバイバルシリーズは子どもたちに大変人気で、取り合いになるくらいです。

事務局（小倉班長）： 1冊だけではいつも書架にないことになってしまうので、それについてもどうするのが良いか考えているところです。

鎗田委員： 平川図書館は3階にありますが、平川公民館の1階には普段から子どもたちが多くいると思います。そういった子どもたちに図書のご案内や働きかけなどはできないでしょうか。

大野委員： 確かに迎えを待っている中学生で溢れていることが多いです。

事務局（藤尾館長）： 3階に図書館がありますという掲示はしてあります。

鎗田委員： 図書館のご案内だけでなく、本を表紙の写しなどで紹介したり、関心をもってもらえるようなアピール方法をとってははどうでしょう。

事務局（小堀館長）： 確かに公民館は中学生が多いです。公民館として本を置くことも考えたことはありましたが、管理面での問題が色々出てきました。除籍済の資料を置いたり、表紙のコピーなどであれば、検討していけるかもしれません。

武内委員長： 色々意見がでましたが、それぞれの項目について図書館協議会としての外部評価に移りたいと思います。

まずサービス目標（1）の資料及び情報の収集、提供ですが、こちらについてはいかがでしょうか。市民の登録率の項目で課題となる点はありますが、全体的な評価としてはA評価でよろしいでしょうか。

全員： A評価で良いと思います。異議なし。

武内委員長： それでは図書館協議会としてA評価と致します。

武内委員長： 続きまして、サービス目標（２）の社会情勢の変化に応じたサービスの充実にですが、こちらについてはいかがでしょうか。

全員： A評価で良いと思います。異議なし。

武内委員長： モバイル端末対応のサービスの整備や学校との連携など引き続き継続した対応をしていただければと思います。

武内委員長： 最後にサービス目標（３）の利用者に応じたサービスについて、こちらはいかがでしょう。

全員： A評価で良いと思います。異議なし。

武内委員長： それではこちらについても図書館協議会としてはA評価とします。

事務局（藤尾館長）： 外部評価の全体評価、ありがとうございました。本日いただいた意見等を「図書館協議会からの意見」の欄にまとめて委員の皆さんにお送りしますので、確認をお願い致します。不足や解釈の違い等ありましたら、確認の段階でご指摘頂きたいと思います。

武内委員長： それでは議題２につきましては、以上で終了させていただきます。

議題（３）令和元年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について  
事務局（小倉班長）より昨年度までは報告としていたが、今年度より議題として皆さんの意見を伺いたい旨と資料に基づいた実施結果の説明。

武内委員長： 今年度の実施結果を聞いて、来年度に向けて参考意見や要望などはありますか。トショロカレンダーを拝見しましたが大変良い出来でした。

光武委員： スタンプラリーの件ですが、平岡だけ台紙の配布数よりプレゼントの数の方が多くなっているのは、1人で何回ももらったお子さんがいるということでしょうか。

事務局（藤尾館長）： 台紙を配布する館とプレゼントを配布する館が一致していない場合もあります。

事務局（小倉班長）： 台紙は40個スタンプを押せるようになっているが、途中の20個でもプレゼントをもらえるので、配布数とプレゼント数は一致しておりません。

大野委員： マグネットなどのプレゼントを作成したのはボランティアですか。

事務局（小倉班長）： 社会教育推進員と職員で作成しました。

大野委員： 参加者も増えており、作成も大変になりますね。

武内委員長： こちらの事業については、来年度以降も是非継続してもらいたいです。

他にご意見等がなければ、議題は終了となりますので、事務局へお返しします。

## 8. 報告事項

(1) 令和元年度袖ヶ浦市立図書館経営方針及び重点施策について

(2) 袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について

(3) その他

- ・議会だよりの座談会におはなし会ボランティアが参加
- ・昭和中学校生徒による児童室での展示
- ・社会教育推進員による児童室窓への飾りつけ

各報告事項について、事務局より説明する。

## 9 閉会のことば

午後4時5分閉会

## 令和元年度第1回袖ヶ浦市立図書館協議会次第

令和元年 7月23日(火)  
午後2時から4時まで  
中央図書館 2階 第1会議室

辞令交付式

次第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

(1) 委員長あいさつ

(2) 教育長あいさつ

### 3 議 題

(1) 図書館協議会副委員長の選出について p1～p2

(2) 平成30年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について p3～p14

(3) 令和元年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について p15～p16

(4) その他

### 4 報告事項

(1) 令和元年度袖ヶ浦市立図書館経営方針及び重点施策について p17～p22

(2) 袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について p23

(3) その他

### 5 閉 会

議題（１）図書館協議会副委員長の選出について

第 17 期袖ヶ浦市立図書館協議会委員名簿

氏 名	選出区分	備 考
たけうち きみこ 武内 喜美子	学識経験 元千葉県立中央図書館 副館長	4 期目 委員長
きたはら まさし 北原 政志	学校教育 平岡小学校校長	新任 1 期目 (H31. 4. 24～)
やまだ まい 山田 真衣	学校教育 袖ヶ浦高等学校実習助手	新任 1 期目 (H31. 4. 24～)
しらい ゆみこ 白井 由美子	学校教育 蔵波小学校学校司書	1 期目
やりた のりこ 鎗田 典子	社会教育 おはなし会ボランティア	3 期目
おおの としえ 大野 俊江	社会教育 公民館運営審議会委員	3 期目
つむら ちづこ 津村 千鶴子	家庭教育 子どもるーぷ袖ヶ浦会員	1 期目
たかはし かずこ 高橋 和子	家庭教育 ファミリーサポートセンター提供会員、家庭教師	2 期目
みつたけ けんいちろう 光武 賢一郎	学識経験 郷土博物館市民学芸員	3 期目
よしむら まりこ 吉村 真理子	学識経験 千葉敬愛短期大学副学長	1 期目

任 期 平成30年12月1日から令和2年11月30日まで

○ 図書館法

(図書館協議会)

第 14 条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第 15 条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

○袖ヶ浦市立図書館設置条例

(図書館協議会)

第 4 条 図書館法第 14 条の規定により、袖ヶ浦市立図書館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員(以下「委員」という。)は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、袖ヶ浦市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が任命する。

3 委員の定数は、10 人以内とする。

4 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

○袖ヶ浦市立図書館協議会運営規則

(趣旨)

第 1 条 この規則は、袖ヶ浦市立図書館設置条例第 4 条の規定により設置された袖ヶ浦市立図書館協議会(以下「協議会」という。)に関し、必要な事項を定めるものとする。

(委員長等)

第 2 条 協議会に委員長及び副委員長各 1 名を置く。

2 委員長及び副委員長は委員の互選により選出する。

3 委員長は会務を総理し、協議会を代表する。

4 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第 3 条 協議会の会議は委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

2 会議は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ開くことができない。

3 会議の議決は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

## 議題（２）平成３０年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について

袖ヶ浦市の図書館は、平成２３年３月に策定した「袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画」に基づき、様々な事業を推進しています。

第３次図書館サービス網計画は、平成２３年度を初年度として令和２年度を目標年次とする１０年間の計画ですが、サービス評価指標については、図書館を取り巻く環境の変化等に柔軟に対応するために、計画期間を前期と後期のそれぞれ５年に分けて設定し、前期５年間の計画は平成２７年度を以て終了しました。

平成２８年度には、「袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画 後期計画（計画期間：平成２８年度～令和２年度）」を策定し、数値目標の一部見直し、新しいサービス指標の追加等を行いました。

“図書館は、そのサービス水準の向上を図り、図書館の目的及び社会的使命を達成するため「数値目標」を設定し、各年度の図書館サービスの状況について、図書館協議会の協力を得つつ、「数値目標」の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うとともに、その結果を市民に公表するように努めます。”

「袖ヶ浦市第３次図書館サービス網計画」より

### 「平成３０年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価」

#### 公開までのスケジュール

月	作業内容	進捗
４月～５月	・統計数値等の平成３０年度実績を集計する。	○
５月～６月	・図書館としての内部評価を行う。	○
７月２３日	・図書館協議会による外部評価を行う。 (令和元年度第１回図書館協議会)	
７月～８月	・外部評価を取りまとめ、公表するための事務局案を作成する。	
８月	・事務局案について、図書館協議会委員から改めて意見を求め、必要に応じて修正する。	
９月６日	・図書館協議会委員の了承を得た最終案について、教育部課長会議で報告する。	
９月２５日	・教育部課長会議で了承を得た最終案について、教育委員会で報告する。	
９月末	・図書館のホームページを通じて公表する。	

<b>評価基準</b>	A：計画どおりに実施でき、一定の成果があった。達成率 80%以上
	B：課題はあるものの、概ね計画どおり実施できた。達成率 60%以上 80%未満。
	C：不十分な点や課題が多く、計画通りに実施できなかった。達成率 60%未満。

(注) ☆は、後期計画（平成28年度～令和2年度）で追加した指標

### サービス目標（1）資料及び情報の収集、提供等

令和2年度想定市人口 64,000人  
平成31年4月1日市人口 63,704人

サービス評価指標	実績(H.30)	目標(R.2)	達成率	
☆①図書購入タイトル数/購入冊数(%)	85.2	90.0	94.7%	A
☆②蔵書冊数(所蔵図書冊数)	698,317	710,000	98.4%	A
☆③市民一人当たりの蔵書冊数(冊/人)	11.0	11.1	99.1%	A
④袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊/年)	392	270	145.2%	A
⑤年間利用者数(人/年)	148,243	155,000	95.6%	A
⑥市民新規登録者数(人/年)	1,165	1,200	97.1%	A
⑦市民登録率(%)	42.5	60.0	70.8%	B
⑧資料貸出数(点/年)市外含む総計	548,560	650,000	84.4%	A
⑨市民一人当たりの貸出数(点/人)	8.6	10.2	84.3%	A

#### (後期計画におけるサービス内容)

「袖ヶ浦市立図書館資料収集規程」及び「袖ヶ浦市立図書館資料選定基準」に基づき、資料の整備に努めます。

第3次図書館サービス網計画の中で、資料整備については、「人口1人当たり10冊を基本に640,000冊を目標とします。」とうたっています。現在、蔵書冊数は65万冊を越え、前期の目標値は達成していますが、図書館資料については、最新の情報を提供し書架の新鮮さを保つためには継続的な更新が必要であることから、今後も開架資料の5%の更新を目標として、市民に多種多様な学習要求に応えられるように、幅広いタイトル数を購入するよう努めてまいります。

少子高齢化の急速な進行に伴い、図書館の利用についてはこの5か年で、資料貸出総数、新規登録者数等については減少傾向にあります。

図書館としては、利用者により資料に関心を持ってもらうための時宜的な資料展示やテーマ

展示、また転入者への利用案内の配布、県立袖ヶ浦高校生に利用案内を配布するほか、今後も図書館資料の情報提供を進め、利用の拡大に努めます。

## 内部評価

### ○全体評価 : A

- ・新刊図書からの選定、必要に応じて遡及での図書購入を行なったほか、郷土行政資料を主に寄贈の依頼も行い、全館の開架書架の図書318,582冊に対して13,866冊(うち購入図書12,672冊)を受け入れし、開架書架の約4.4%を更新することが出来た。(冊数は平成31年3月31日時点の数値)
- ・図書館利用につながる広報活動や図書館資料の紹介に年間を通じて積極的に取り組んだことにより、資料の提供に係るサービス指標が、⑤年間個人利用者数、⑥市民新規登録者数だけでなく、平成21年度以来減少が続いていた⑧資料貸出点数についても、平成29年度実績から5,697点の貸出増となった。(平成29年度:542,863点→平成30年度:548,560点)ただし、市人口も増加していることから、サービス指標⑨市民一人当たりの貸出数は、前年度並みにとどまった。

### ○課題

- ・高齢化が進行する中で、平成29年度は長浦の医学書、平成30年度は社会福祉関連図書と、市民の関心が高い分野の図書を重点的に収集したが、内容の改定や法改正が著しい分野なので、今後も継続して積極的に新刊を購入し、書架の更新を図っていく必要がある。
- ・市人口の増加に伴い、⑥市民新規登録者数は平成28年度以降増加しているものの、毎年1,500人前後の10年未利用の市内登録者を除籍していることから、⑦市民登録率は減少が続いている。

### ○今後の対応

- ・内容の改定の頻度が高い医学書、社会福祉関連図書の充実を図り、認知症や介護、終活など高齢者の関心が高い図書を積極的に収集する。
- ・新規登録者を増やすための取り組みとして、おはなし会や映画会、講座・講演会等の集会事業、読書や生活課題の解決につながる様々な情報を館内掲示やホームページ等を活用して提供するとともに、図書館の利用案内を市内の図書館外の施設にも積極的に掲示していく。

## 取り組み内容

### <新規・一部新規・拡充>

- ・内容の改定が著しく、市民の関心も高まっている社会福祉関連の図書を重点的に収集し、日本十進分類法の分類「369:社会福祉」の一般書を全館で165冊収集し、同分類の全開架図書1,981冊の約8.3%を更新することができたほか、9月には認知症関連図書やパンフレットを集めた「認知症コーナー」を中央図書館に新しく設置した。
- ・その他にも、日本十進分類法の分類「49:医学・薬学」の一般書を全館で648冊収集し、同分類の全開架図書9,999冊の約6.5%を更新するなど、新鮮な情報が求められる分野や内容の古くなった分野の資料を充実させることができた。

- ・6月には中央図書館の文庫棚を増設し、青少年向けだけでなく高齢者向けにも需要の増えている文庫本を積極的に収集した。市内3つの図書館の文庫コーナー及び青少年コーナー全体で文庫本1,184冊を収集し、開架の文庫本全16,123冊の約7.3%を更新することができた。
- ・新着図書がより多くの来館者の目に触れるように、12月からは全館で一度貸出した図書も受入後60日間は再度「新着図書コーナー」へ排架することにし、貸出の増につながった。
- ・児童書について資料選定基準を一部改訂し、学習漫画も選定対象とし、「絵によって固定したイメージを与えることや理解の妨げになることなどを考慮したうえで、各主題の選定の視点に基づき、かつ主題をより分かりやすく表現し、漫画が理解の助けとなっているものを慎重に検討する」こととした。

### <継続>

- ・おすすめ図書のリストを一般向けに2種類「男女共同参画社会関連図書リスト」「新成人に贈るお薦めの100冊」、パスファインダー（調べ方案内）を一般向けに1種類「新聞記事の探し方」、児童向けに1種類「生き物を調べる」を新たに作成した。
- ・袖ヶ浦高等学校の生徒全員に、「図書館を使いこなそう」という利用案内（裏面は青少年向けのお薦め図書リスト「ティーンズ・トショロ」）を配布した。
- ・夏休み中に全館で「宿題おたすけコーナー」を設置し、児童の利用促進を図った。
- ・4～5月の「こどもの読書週間記念行事」、7～8月の「夏のトショロ月間」、10～11月の「秋のトショロ月間」など長期間の大型イベント、そして新年企画として1月には「えほんのふくぶくろ」を全館で行なったほか、中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館では月替わりで時事的な関心の高いテーマの関連図書を「特設コーナー」に集めて紹介するなど、年間を通じて様々な形で市民の読書意欲を喚起する取り組みを行なった。
- ・「子どもの本の講座」や「文芸講座」、定例の映画会の開催時には関連図書を受付で紹介し、その場で貸出できるようにした。
- ・市役所の市民課、長浦・平川行政センターにおいて転入者へ図書館の利用案内を配布したほか、千葉県立袖ヶ浦高等学校の新生生に対して高校生向けに作成した利用案内を配布した。また、ブックスタートでは、幼児向けのおすすめリストとあわせて利用申込書を配布し、利用喚起を図った。

### 外部評価

○全体評価：

○図書館協議会からの意見

サービス目標（2）社会情勢の変化に対応したサービスの充実

令和2年度想定市人口 64,000人

平成31年4月1日市人口 63,704人

サービス評価指標	実績(H.30)	目標値(R.2)	達成率	
⑩一日あたりのホームページアクセス件数 (件/日)	255.6	315	81.1%	A
⑪一ヶ月あたりのWeb予約件数(件/月)	2,756.4	2,250	122.5%	A
☆⑫学校図書館への対応 ・団体貸出総冊数(冊数/年)◆	3,270	3,000	109.0%	A
⑫学校図書館への対応 ・出張おはなし会参加者数(人/年)◆	6,013	5,000	120.3%	A
⑬レファレンス件数(件)	1,139	800	142.4%	A

◆【平成30年11月改定】学校図書館、学校ボランティア活動の充実を勘案し、目標値を変更した。

（後期計画におけるサービス内容）

①情報化社会への対応

今後も、ホームページの充実を図り、またメールマガジンの発行により、新着資料の情報提供や個々に関心の高い資料情報の提供を行うなど、より利便性の高い情報発信を行っていきます。

②学校図書館への対応

学校図書館への支援については、今後も引き続き、団体貸出、レファレンスサービス、学級文庫への読み物のセット貸出を行うなど学校図書館を通した子どもたちの読書への支援をさらに推進します。また学校を訪問してのおはなし会等を開催し、調べ学習の支援を行います。

③高齢化社会への対応

高齢者にとって、より利用しやすい図書館を目指し、今後も大活字本の提供、朗読CDの積極的な収集提供に努めます。

④関連施設・関係課との連携

他の公共図書館との連携により、市民への資料提供をより一層充実させます。また今後も他の公共図書館、学校図書館、博物館などの教育施設との連携を図り、子育て支援を推進し、図書館利用の促進のため、関係課との連携をより強化していきます。

⑤国際化への対応

国際化が急速に進展し、子どもから大人まで、市民が外国の文化に触れる機会も増大しています。より外国の文化を理解し、外国人に日本文化を紹介するための外国語資料の充実を図り、外国語による利用案内等を作成します。

⑥職業能力開発の要求への対応

労働を取り巻く環境の変化により就職、転職、能力開発、日常の仕事等で情報を必要とする市民は増加しています。こうした利用者に対応するための資料の収集・提供、適切なレファ

レンスの実施等、個人の学習ニーズに応える機能を高め、図書だけでなく、就労や資格取得のためのパンフレットやちらし等による情報提供、インターネットを活用した情報や、法律・経済関連のデータベースの提供を行います。

#### ⑦レファレンスサービスの充実と利用促進

レファレンスサービスについては、情報量が増大し、多種多様となっている現代社会において、課題解決のための支援はますます重要になっています。市民の課題解決支援に対応するために必要な図書資料及び電子資料の提供に努めます。

### 内部評価

#### ○全体評価 : A

- ・パソコン版のホームページへのアクセス件数は微増だが、スマートフォンや携帯電話などモバイル用の検索サイトを含めると、ウェブ上の蔵書検索は年々大幅に増加している。これに伴い、Web予約件数もさらに増加した。  
(参考指標) 検索サイトを含めた1か月当たりの総ページビュー数  
平成28年度：341,644.8件、平成29年度：409,220.7件、  
平成30年度：595,455.9件
- ・SNSを活用した広報活動として、これまで必要に応じて市役所経由でツイッターを発信していたが、9月から図書館の公式ツイッターを開始した。図書館独自のツイッターを運用することで、図書館からの情報発信が質量ともに充実した。
- ・おはなし会の依頼がない学校に対し図書館から積極的に働きかけたことで依頼件数が増え、学校への出張おはなし会の参加人数が大幅に増加した。(平成29年度：3,492人→平成30年度：6,013人)
- ・学校の読書指導員(令和元年度からは「学校司書」)の研修会に参加して意見交換を行い、学校への団体貸出のうち読み物・絵本セットの貸出増につなげることができた。(平成29年度：250冊→平成30年度：902冊)
- ・貸出カウンターとレファレンスカウンターや児童カウンター、中央図書館と分館が緊密に連携することで、レファレンスの処理件数は年々増加している。

#### ○課題

- ・図書館の電算システムが令和元年11月末に更新時期を迎えることから、業務用システムだけでなく、ホームページやWebOPAC(蔵書検索)についても利用者にとって使いやすくなるよう改善を図る必要がある。
- ・学校用書庫の本や読み物・絵本セットに対するニーズを把握するためには、今後も学校司書と意見交換する機会をつくる必要がある。

#### ○今後の対応

- ・ホームページを含めた図書館の電算システムを更新し、タブレットやスマートフォンなどモバイル端末にも対応したサービス、WebOPAC(蔵書検索)の機能向上を図る。
- ・学校司書の研修会に定期的に参加するなど、総合教育センター、学校図書館支援センターの担当者、学校司書と意見交換する機会を設け、学校の利用状況に応じた働きかけを行うほか、

読み物・絵本セットも含めた学校用図書の内容の一部見直しを図る。

## 取り組み内容

### ＜新規・一部新規・拡充＞

- ・月1回のメールマガジン配信に加えて、図書館独自の公式ツイッターの運用を9月から開始したことにより、事業のお知らせだけでなく、開催中の様子や開催結果を写真付きで随時アピールが出来るようになったほか、特設コーナーなど図書館資料についての情報もタイムリーに発信できるようになった。
- ・メールマガジン、ツイッターのQRコード付きのポスターを全館のカウンター周辺に掲示したほか、名刺大のカードを作成して講座参加者やカウンターで配布したり、チラシを袖ヶ浦駅北側のマンションにポスティングしたことで、ツイッターだけでなくメールマガジンの登録者も増加した。  
(参考) メールマガジン登録者数 平成29年度末：134人→平成30年度末：167人  
ツイッターフォロワー数 平成30年度末：155人
- ・ホームページのリンク先に「そでMAP」(袖ヶ浦市内の生活情報を電子地図上に表示)、「新聞記事文庫」(神戸大学経済経営研究所が作成した明治末から昭和45年までの新聞記事の切り抜きを収録)などを追加し、内容の充実を図った。
- ・平成30年度から中央図書館と長浦おかのうえ図書館で国立国会図書館の「れきおん(歴史的音源配信サービス)」が利用できる環境を整備し、館内掲示だけでなくホームページやツイッターを通じて周知した。
- ・7～8月に実施した利用者アンケートの中でWi-Fiや電子書籍、SNSを活用した広報など情報化社会に対応したサービスに関する設問を設け、利用者ニーズの把握を図った。

### ＜継続＞

- ・ホームページ上で毎月、前月分の袖ヶ浦市関連新聞記事一覧を公開したほか、平成29年度1年間分の記事一覧を冊子体にまとめ、地域情報の充実を図った。また、市役所内で活用してもらえるように、平成30年9月分から、市役所職員向けの掲示板にエクセルファイルでの掲載を始めた。
- ・「夏のトショロ月間」では、「親子いっしょのおはなし会」として、袖ヶ浦高等学校生徒による読み聞かせを行った。また、中央館児童室では昭和中学校図書委員によるおすすめ図書の展示、長浦の市民ギャラリーにおいて蔵波中学校美術部員による作品展示を行った。
- ・「秋のトショロ月間」において、中央図書館で昭和小学校生徒が自分の好きな星野富弘の作品を模写した詩画を展示した。
- ・中央図書館の青少年コーナーで「袖ヶ浦高校図書委員のおすすめ図書」を展示した(11月22日から1月末まで展示)。
- ・高齢者が利用しやすい資料として、朗読CDを中央、長浦、平川で合計37点(31タイトル)、大活字本を根形公民館図書室を除く全館で110冊(43タイトル)購入した。
- ・総合教育センターが中央図書館を会場として毎年7月に開催する「調べ学習相談会」では、講師の助言を受けた参加者の要求に応じて図書館の職員が適切な資料を紹介、提供する形で連携し、小中学生の調べ学習を支援した。
- ・平岡公民館の通学合宿で公民館図書室を活用したほか、平川公民館・根形公民館・平岡公民

館の公民館まつりでは「秋のおはなし会」「すきすき絵本タイム」などの事業を連携して行なった。また、公民館5館合同開催の幼児家庭教育学級において、絵本の読み聞かせ講座の講師として、図書館の司書が子どもに対する読み聞かせの意義などについて話をした。

- ・NPO「子どもるーぷ袖ヶ浦」主催の「子どもるーぷまつり」に参加し、図書館職員とボランティアによる出張おはなし会を実施した。
- ・外国語図書として、海外の有名な賞を受賞した英語の絵本を9冊、一般書1冊（「5か国語でわかる介護用語集」）を中央図書館で購入した。
- ・館内閲覧用の電子図書として朝日新聞、日本経済新聞記事のデータベース、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを導入し、市民の調査研究支援に活用した。夏休み期間中には、朝日新聞データベース聞蔵Ⅱビジュアルの無料トライアルを導入し、児童生徒の調べ学習に活用した。

日本経済新聞記事データベース閲覧件数30件（平成29年度 閲覧件数44件）

朝日新聞記事データベース閲覧件数 128件（平成29年度 閲覧件数450件）

国立国会図書館デジタル化資料閲覧件数62件（平成29年度 閲覧件数31件）

- ・市内中学校の職場体験学習、木更津総合高等学校のインターンシップを受け入れたほか、ちば南部若者サポートステーションの通所者を受け入れ、図書館の仕事の一部に携わってもらった。

#### 外部評価

○全体評価 :

○図書館協議会からの意見

サービス目標（3）利用者に応じたサービス

令和2年度想定市人口 64,000人

平成31年4月1日市人口 63,704人

サービス評価指標	実績(H.30)	目標値(R.2)	達成率	
☆⑭児童サービスの充実 ・ブックスタートにおける本の配布率(%)	82.7	100	82.7%	A
☆⑭児童サービスの充実 ・おはなし会参加者数[館内・館外合計](人)◆	12,516	12,000	104.3%	A
☆⑭児童サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(回/年)	4	4	100%	A
⑮青少年サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(Y・A)	1	1	100%	A
⑮青少年サービスの充実 ・お薦め本リストの発行(ジュニア)	1	1	100%	A
☆⑯高齢者サービスの充実 ・大活字本の貸出冊数(冊/年)	4,123	5,000	82.5%	A
⑰障がい者サービスの充実 ・宅配サービス(冊/年)	359	350	102.6%	A
☆⑱図書館ボランティアの育成(名)	74	70	105.7%	A
⑲来館者満足度	78.2	75.0	104.3%	A

◆【平成30年11月改定】学校図書館、学校ボランティア活動の充実を勘案し、目標値を変更した。

(後期計画におけるサービス内容)

①子どもたちのために

今後も子どもたちが読書の楽しさを体験し、本に親しむことのできる読書環境の充実に向けて、学校、幼稚園、保育所等との連携を図りつつ、「袖ヶ浦市子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもたちの発達段階に応じた、わらべうたであそぼう、えほんのへや、おはなし会を開催するとともに、新たに健康推進課の4か月児教室において、ブックスタートを実施し、乳児期からのサービスを提供します。

②高齢者のために

今後も、高齢者に配慮した施設の整備を図り、大活字本などの資料の充実に努めます。また、社会福祉協議会、高齢者クラブ等の関係機関・団体との連携を図りながら、映画会、講習会等の読書普及事業の実施、図書館利用の際の介助など、きめこまかな図書館サービスの提供に努めます。

③図書館利用に障がいのある人のために

宅配サービス等の利用案内を引き続き広報等でPRに努めると共に、目の不自由な方へのサ

ービスについても、要望があった場合には的確に対応できる体制を整えます。

#### ④主体的に学ぶ市民のために

市民が読書に親しむ取り組みとして、図書館サークルやボランティアの協力を得ながら、市民に親しまれる図書館を目指し、あらゆる世代に対し図書館の利用や読書に結びつくよう、各種講座・講演会、名画鑑賞会、資料展示等を開催していきます。また、公民館や博物館等の社会教育機関、学校、民間の関係機関との共催事業等、多様な学習機会の提供に努め、市民の情報活用能力の向上を支援するため、学習機会の提供に努めます。

- a. 余暇活動支援      b. 学習生活及び調査研究支援
- c. IT支援              d. 行政支援              e. ビジネス支援

#### ⑤サークル活動をする人のために

市民が図書館資料を共有する中で交流し、暮らしに根ざした自主的な活動を展開していくことは、地域の文化活動を豊かにします。図書館では市民の文化活動、コミュニケーション活動の拠点として、図書館資料、施設を利用して活動するサークルに対して、その活動を支援します。

#### ⑥ボランティア活動をする人のために

市民のニーズにあった事業を展開していくために、市民の知識や技術を生かした市民協働の図書館運営を目指し、新たに展示、映画会事業をはじめ、様々なボランティアを養成します。

### 内部評価

#### ○全体評価 : A

- ・開始時刻を定めず子どもが来館したら行う「おはなしのじかん」の実施、子ども映画会や「かみのおはなやさん」とタイアップした開催、手製の「トショロカード」の配布など、子どもの参加を促す様々な取り組みにより、館内・館外おはなし会の参加者数合計が前年度より大幅に増え、12,516人と過去5年間で最も多い参加者数となった。
- ・「おはなし会ボランティア養成講座初級編」を開催したほか、資料展示と映画会についてはボランティアを募集する説明会を開催し、合計74名の図書館ボランティアを登録することができた。資料展示や映画会については、ボランティアと職員が定期的な打ち合わせを行い、ボランティアとの協働による事業運営が定着してきた。

#### ○課題

- ・おはなし会の内容を充実させるため、平成30年度の初級編で養成した絵本の読み聞かせボランティアを対象に、素話についても習得してもらい、おはなし会ボランティアを増員する必要がある。
- ・高齢化が進行する中で、高齢者が利用しやすい大活字本や視聴覚資料は、今後も継続して収集していく必要がある。
- ・認知症予防の講演会が好評だったことから、今後も、高齢者にとって関心の高い生活課題について講座を開催するとともに、図書館資料を効果的に紹介していく取り組みが必要である。
- ・本市への子育て世代の転入者が増えているので、乳幼児など未就学児向けのサービスを充実させる必要がある。
- ・図書館ボランティアが70名を超えたことから、今後はボランティア相互の連携を深め、図

書館におけるボランティア活動をより一層定着させていく必要がある。

### ○今後の対応

- ・大活字本や朗読CD等、高齢者が利用しやすい資料を今後も継続的に収集していく。
- ・高齢者にとって関心の高い生活課題について、「秋のトショロ月間」等の機会に講座を開催するとともに、関連する資料を館内の特設コーナーなどで特化して取り上げていく。
- ・平成30年度に新しく養成した絵本の読み聞かせボランティアを対象に、素話をテーマとした「おはなし会ボランティア養成講座中級編」を開催し、おはなし会の内容の充実を図る。
- ・市内のすべての図書館・図書室に幼児向け絵本コーナーがあることを積極的に周知し、幼児絵本コーナーに隣接させて育児書コーナーも全館に設置する。
- ・平川図書館の「おはなしのへや」と公民館図書室の「ふれあい読書コーナー」を、開館中は「いつでも親子タイム」として開放し、乳幼児と保護者の参加を促進する。また、ブックスタートのフォローアップとして、「すきすき絵本タイム」への参加を積極的に呼びかけていく。
- ・今後も関係機関や社会教育推進員、図書館ボランティアとの協働により個々の事業内容を充実させていくとともに、図書館ボランティア相互が交流し、意見交換する機会をつくる。

### 取り組み内容

#### <新規・一部新規・拡充>

- ・子どもたちがおはなし会に参加しやすくなるように、中央図書館と長浦おかのうえ図書館で、開始時刻を定めず、一定の時間帯の中で、おはなしを聞きたい子どもがいたらおはなしをする「おはなしのじかん」という形に開催方法を改めたほか、平川図書館ではおはなし会を必ず子ども映画会や「かみのおはなやさん」とのタイアップで行うこととし、「おはなしの花たば」として事業が定着してきた。
- ・図書館の事業への子どもの関心を高めるため、6月から子ども映画会とおはなし会に参加した子どもには、図書館のイメージキャラクターを描いた手製の「トショロカード」を配り、カードを5枚集めるとプレゼントを渡すことにし、参加者の増につながった。
- ・おはなし会の充実とボランティアの増員を目指し、おはなし会ボランティア養成講座初級編を開催した。絵本の読み聞かせについて学び、17名の参加者のうち、8名が令和元年度から絵本の読み聞かせボランティアとして活動している。また、養成講座修了後も、おはなし会ボランティアと共に、読み聞かせの練習会を定期的を実施した。
- ・加入している視覚障がい者用データベースの利用要件が緩和され、視覚障がい者だけでなく、視覚による表現の認識に障がいのある方、視覚著作物をそのままの方式では利用することが困難な方も対象となったことから、新たにチラシを作り、障がい者支援課、障害者相談支援事業所「えがお袖ヶ浦」等に配布した。
- ・近年は図書館においても市民の交流の場としての役割が重視されてきていることから、試行期間を経て中央図書館の閲覧室を自習にも開放した。

#### <継続>

- ・子どもの読書に関心のある市民のために「子どもの本の講座」を開催し、58人の参加があった。講師からは海外での読み聞かせ活動や、絵本の持つ力や読み聞かせの大切さについて語っ

- ていただき、アンケートでも回答者48人中44人から「よかった」以上の評価を得た。
- ・ブックスタートを毎月、4か月児を対象に市の保健センターで実施した。市の人口増に伴い対象となる乳児も増えたことから、午前だけでなく午後も開催する月があり、年間のブックスタート実施回数が18回、ブックスタートパックの配布数も477セットに増えた。(前年度は12回、451セット)
  - ・夏休み期間中に「夏のトショロ月間」を開催し、社会教育推進員が企画した「マザーグースでてあそび」「はらぺこあおむしの手づくり工作」のほか書庫探検、将棋体験教室、おはなし会ボランティアや袖ヶ浦高校と連携した「なつやすみとしょかんであそぼう」、グループサークルによる人形劇など、子どもの読書活動につながる様々なイベントを行なった。(参加者数の合計は1,364名)
  - ・読書週間をはさんで「秋のトショロ月間」を開催し、中央では井原西鶴についての「文化講演会」や夏目漱石についての「文芸講座」、長浦では高齢者支援課との共催で「図書館を活用した認知症予防」講演会を開催した。また、社会教育推進員が企画した中央図書館の中庭を活用した「トショロの庭 Tea Time」、歌舞伎舞台のビデオ上映、映画会ボランティアが企画したプログラム「映画のグルメ映画と食のステキな関係」による上映、図書館登録サークルによる作品展示やコンサート等を行なったほか、平川・根形・平岡では「本のおたのしみ袋」の貸出も行なった。(参加者数の合計は1,359名)
  - ・障がい者への宅配サービスでは、個々の利用者が希望するジャンルの図書リストを作成するなどきめ細かい対応を行い、延べ71件、合計359点の資料を提供した。うち視覚障がいのある利用者には視覚障がい者用データベースを活用し、デイジー図書を提供した。(利用者1名、貸出点数80点)
  - ・参加者相互の交流の機会をつくり、事業内容の理解を深めることを目的に、文芸講座の最終日には講師との懇談会、名画鑑賞会では上映後に感想を話し合う「シネマトーク」を年3回実施した。
  - ・図書館来館者の利用実態や満足度、意見等を把握し、今後の図書館運営の参考とするため、利用者アンケート(隔年実施)を行い、来館者満足度は78.2%であった。アンケート結果については、自由記述欄に書かれた主な意見への回答を作成し、図書館のホームページ上で公開した。

#### 外部評価

○全体評価 :

○図書館協議会からの意見

### 議題（3） 令和元年度こどもの読書週間記念行事の実施結果について

#### 1 目的

「こどもの読書週間」を通じて、貸出冊数の拡大と、スタンプラリー、おすすめ図書リストの配布やおすすめ図書の展示、子ども映画会の実施などの各種行事を全館で実施し、家庭における読書活動の充実を推進する。

#### 2 期間及び内容

- (1) 貸出冊数の拡大（全館） 4月13日（土）～5月12日（日）  
貸出冊数の上限を、通常の一人15冊から一人20冊に拡大する。
- (2) スタンプラリー（全館）  
スタンプラリー台紙配布：4月6日（土）～5月12日（日）  
スタンプ押印：4月13日（土）～5月12日（日）  
図書館の本をカウンターに返却した子ども（対象：0歳～小学生）に対して、返却した冊数分のスタンプを専用の台紙に押し、スタンプ20個ごとに記念品をプレゼントする。記念品は、スタンプ20個でトショロカレンダー、40個でフェルトマグネットとスケジュールシールとする。
- (3) おすすめ図書リストの配布（全館） 4月13日（土）～5月12日（日）  
親子で楽しめる絵本、読み継がれてきた本、読み聞かせて面白い物語など、図書館で作成したおすすめ図書のリストを配布する。
- (4) おすすめ図書の展示（全館） 4月13日（土）～5月12日（日）  
リストに掲載している絵本など、親子での読書におすすめの児童書を展示して紹介する。
- (5) 子ども映画会の実施  
中央図書館 5月3日（金・祝）「はらぺこあおむし」  
長浦おかのうえ図書館 5月5日（日）  
「じてんしゃにのるひとまねこざる」  
平川図書館 5月12日（日）「すてきな三にんぐみ」  
児童とその保護者を対象とした名作アニメーションを上映する。

### 3 実績

行事名	日時または 期間	配布数・参加者数
スタンプラリー台紙 の配布	4/6～5/12	① 中央 395 枚 ② 長浦 455 枚 ③ 平川 94 枚 ④ 根形 27 枚 ⑤ 平岡 14 枚 全館合計 985 枚
記念品プレゼント数	4/13～5/12	① 中央 139 個 ② 長浦 165 個 ③ 平川 47 個 ④ 根形 26 個 ⑤ 平岡 19 個 全館合計 396 個 (内訳 カレンダー 263 個 マグネット 133 個)
子ども映画会の実施	① 5/3 ② 5/5 ③ 5/12	① 中央 110 人 ② 長浦 42 人 ③ 平川 13 人 合計 165 人
かみのおはなやさん	① 4/14 ② 4/28 ③ 5/12	① 長浦 23 人 ② 中央 25 人 ③ 平川 22 人 合計 70 人

### 4 前年度との比較

	平成 30 年度	令和元年度	比較
記念品の受け渡し 人数 (参加者数)	312 人	396 人	84 人 増
実施期間	4/14～5/13 (26 日間)	4/13～5/12 (27 日間)	1 日間 増
実施期間中の 児童書貸出冊数	15, 178 冊 (26 日間)	16, 924 冊 (27 日間)	1,746 冊 増
1 日当たりの 児童書貸出冊数	583 冊	627 冊	44 冊 増

### 5 総括

本年度は昨年度に引き続きスタンプラリーを行い、より多くの子どもに記念品を受け取ってもらうことができた。記念品がトショロカレンダーだったため、幼児のみならず小学生も意欲的に参加する姿が見られた。1日当たりの児童書の貸出冊数も、昨年度と比較して増加し、子どもの読書意欲を喚起する一定の成果が見られた。来年度以降も、スタンプラリーを軸とし、効果的な実施内容を検討したい。

## 報告事項（１）令和元年度袖ヶ浦市立図書館経営方針及び重点施策について

### 令和元年度袖ヶ浦市立図書館経営方針及び重点施策

#### 1. 経営方針

図書館では、第2期教育ビジョンの基本方針の一つである「市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援」を推進し、「市民に親しまれる図書館活動の充実」を目指します。

そのため、第3次図書館サービス網計画に基づき、市民の多種多様・高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる、市民に親しまれる図書館運営に努めるとともに、「市民の書斎として、思索の場として、そして、市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを進めます。

#### 2. 重点施策

○：継続、◎：拡充・一部新規、☆：新規事業

##### 市民に親しまれる図書館活動の充実

##### (1) 図書館資料の充実

利用者にとって魅力のある図書館とは、古い資料から新しい情報まで、個人個人の読書要求に応えられる資料の豊富さにあります。「図書館資料収集規程」及び「図書館資料選定基準」に基づき、図書館資料の一層の充実に努めるとともに、利用者のニーズに合致した資料の活用を図ります。

◎開架書架の5%程度を更新できるように新刊図書を整備するとともに、少子高齢化社会が進行する中で、必要とされる資料の充実をはかります。また、郷土行政資料については寄贈を積極的に呼びかけます。

○新聞記事、法律情報、国立国会図書館デジタル化資料などの電子図書（データベース）を提供します。地域情報の充実のため、袖ヶ浦市関連の新聞記事索引を作成してホームページ上に公開するなど、市民の多種多様な調査研究を支援します。

○様々なおすすめ図書の紹介、パスファインダー（調べ案内）の作成等を通じて、教養や調査研究等に資する情報の提供と図書館資料の活用を推進します。

○視覚障がい者用データベースを活用し、図書館利用に障がいのある人が利用しやすい資料を提供します。

##### 【主な取り組み】

- ・内容の改定の頻度が高い医学書、社会福祉関連図書の充実に図り、認知症や介護、終活など高齢者の関心が高い図書を積極的に収集します。
- ・市内のすべての図書館・図書室に幼児向け絵本コーナーがあることを積極的に周知し、幼児絵本コーナーに隣接させて育児書コーナーも全館に設置します。
- ・映画会とのタイアップで「れきおん（歴史的音源配信サービス）」の鑑賞会を行い、周知を図ります。

## (2) 乳幼児期からの読書活動の推進

子どもが主体的に読書活動を行うことを目指し、「第3次子ども読書活動推進計画」に基づき、学校図書館や公民館図書室と連携を図りながら、乳幼児期から青少年期まで、子どもの発達に応じて読書の楽しさを実感するとともに、いつでも本に親しむことのできる読書環境の充実に向けた活動を推進します。

- 子どもの発達段階に応じた各種おはなし会、「すきすき絵本タイム」、学校や保育所等への出張おはなし会を実施します。
- ◎おはなし会の更なる充実とボランティアのスキルアップを目指し、おはなし会ボランティア養成講座中級編を実施します。
- 乳幼児期からの発達段階に応じた読書活動を推進し、子どもが本に親しむ環境を一層充実させるため、4か月児を対象にブックスタートを実施します。
- 「こどもの読書週間記念行事」や「夏のトショロ月間」等、1か月単位での読書普及活動を行い、いつでも本に親しむことのできる読書環境の充実を図ります。
- 中学校、高校の図書委員会等と連携し、青少年の図書館利用喚起を図ります。

### 【主な取り組み】

- ・平成30年度に養成した絵本の読み聞かせボランティアを対象に、素話をテーマとしたおはなし会ボランティア養成講座中級編を開催し、おはなし会の内容の充実を図ります。
- ・公民館図書室の「ふれあい読書コーナー」を開館中は「いつでも赤ちゃんタイム」として乳幼児と保護者の参加を促進します。また、ブックスタートのフォローアップとしてすきすき絵本タイムへの参加を積極的に呼びかけていきます。

## (3) 高齢化社会に対応した図書館サービスの充実

急速に進展する社会の高齢化に対応するため、高齢者にも利用しやすい図書館資料や、生きがいを促進する各種事業の充実、図書館が憩いの場となるよう快適な読書環境の整備に努めます。

- ◎大活字本や視聴覚資料などの高齢者が利用しやすい資料の収集を進めるとともに、高齢者の生活課題に即した資料の提供を積極的に進めます。
- 豊富な視聴覚資料を活用し、映画会ボランティアとともに定期的に名画鑑賞会を開催するほか、「秋のトショロ月間」において、高齢者に関心の高いテーマを取り上げて講座を開催します。

### 【主な取り組み】

- ・大活字本や朗読CD等、高齢者が利用しやすい資料を今後も継続的に収集します。
- ・高齢者にとって関心の高い生活課題について、「秋のトショロ月間」等の機会に講座を開催するとともに、関連する資料を館内の特設コーナーなどで特化して取り上げていきます。

#### (4) 情報化社会に対応した電子図書館サービスの充実

情報化社会の進展に伴い、電子媒体を活用した様々な情報提供の充実や、コンピュータ・システムを活用した利便性の向上に努めます。

☆図書館電算システムを更新し、ホームページやWebOPAC機能の改善を図ります。

○新聞記事、法律情報、国立国会図書館デジタル化資料などの電子図書（データベース）を提供します。地域情報の充実のため、袖ヶ浦市関連の新聞記事索引を作成してホームページ上に公開するなど、市民の多種多様な調査研究を支援します。（再掲）

○ホームページのコンテンツやメールマガジンの配信、ツイッターでの情報発信を通じて、市民への図書館及び図書館資料に関する情報提供の充実を図ります。

○視覚障がい者用データベースを活用し、図書館利用に障がいのある人が利用しやすい資料を提供します。（再掲）

##### 【主な取り組み】

- ・ホームページを含めた図書館の電算システムを更新し、タブレットやスマートフォンなどモバイル端末にも対応したサービス、WebOPAC（蔵書検索）の機能の向上を図ります。

#### (5) 図書館運営への市民参加の推進

図書館の運営に利用者の声を反映させる仕組みづくりに努めるとともに、市民の技術や知識、経験をボランティアとして活かせる環境づくりを推進します。

○図書館のサービス状況について、図書館協議会の協力を得ながら点検・評価を行い、その結果を市民に公表します。

☆図書館で活動するボランティア相互の連携を図るため、図書館ボランティア総会を開催します。

◎おはなし会の更なる充実とボランティアのスキルアップを目指し、おはなし会ボランティア養成講座中級編を実施します。（再掲）

○事業の充実と利用の拡大を図るために、社会教育推進員や図書館ボランティアと協働し、読書普及事業を推進します。

○「秋のトショロ月間」の中で、図書館を利用するグループサークル等に学習成果を発表する場を提供します。

##### 【主な取り組み】

- ・平成30年度に養成した絵本の読み聞かせボランティアを対象に、素話をテーマとしたおはなし会ボランティア養成講座中級編を開催し、おはなし会の内容の充実を図ります。（再掲）

- ・今後も関係機関や社会教育推進員、図書館ボランティアとの協働により事業内容を充実させていくとともに、図書館ボランティア相互で交流する機会を作り、図書館を拠点としたボランティア活動の定着を図ります。

令和元年度図書館事業一覧

(単位：千円)

No.	事業名 【事業費：千円】	目的・内容	時期・回数	対象・人数															
1	図書館協議会 関係費 【221】	地域住民と図書館の架け橋的役割を担う委員が、図書館の持つ課題について研究協議し、図書館奉仕活動の振興を図ります。 視察先 立川市立中央図書館 日野市図書館	会議 2回 7月・2月 視察1回10/30	協議会委員 10人															
2	図書館運営事務 費 【52,425】	市民に親しまれる図書館活動の充実を目指し、中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館、公民館図書室を有機的に結合させ、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる図書館づくりを進めます。	開館日数 中央・長浦・ 平川・根形 ・平岡 297日	市全域															
3	図書館資料購入 費 【27,622】	中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館、公民館図書室の資料を計画的に整備し、市民の生涯学習要求に応じた資料の充実を図ります。	通年	市全域															
	(1) 図書購入 (22,257)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央 4,570冊</li> <li>・長浦 4,663冊</li> <li>・平川 1,181冊</li> <li>・根形 286冊</li> <li>・平岡 270冊</li> <li>計 10,970冊</li> </ul>	全館																
	(2) 視聴覚資料 購入 (400)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD 10点</li> <li>・コンパクトディスク 90点</li> <li>計 100点</li> </ul>	中央・長浦 ・平川																
	(3) マイクロ フィルム購入 (343)	三大新聞の千葉版及び地方新聞のマイクロフィルムを収集し、地域の遡及的な調査研究に役立てます。 ・朝日、毎日、読売新聞（千葉版） ・千葉日報、新千葉新聞	中央閲覧のみ																
	(4) 新聞・雑誌 購入 (2,841)	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">〈新聞〉</td> <td style="text-align: center;">〈雑誌〉</td> </tr> <tr> <td>・中央</td> <td style="text-align: center;">12紙</td> <td style="text-align: center;">90誌</td> </tr> <tr> <td>・長浦</td> <td style="text-align: center;">10紙</td> <td style="text-align: center;">58誌</td> </tr> <tr> <td>・平川</td> <td style="text-align: center;">4紙</td> <td style="text-align: center;">24誌</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">26紙</td> <td style="text-align: center;">172誌</td> </tr> </table>		〈新聞〉	〈雑誌〉	・中央	12紙	90誌	・長浦	10紙	58誌	・平川	4紙	24誌	計	26紙	172誌	中央・長浦 ・平川	
	〈新聞〉	〈雑誌〉																	
・中央	12紙	90誌																	
・長浦	10紙	58誌																	
・平川	4紙	24誌																	
計	26紙	172誌																	
	(5) その他 (1,781)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官報情報データベース、法情報データベース</li> <li>・図書データ作成、図書装備ほか</li> </ul>	全館閲覧可能																
4	電算処理事業 【22,501】	中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館、公民館図書室のネットワークを活用し、迅速かつ均一な図書館サービスの提供を図ります。 また、ホームページを充実させ、利便性の向上と図書館からの情報発信に努めます。 ・図書館電算システム更新（図書館業務用ソフト及び電算機器一式） ・朝日新聞、日本経済新聞データベース	全館  ただし、朝日新聞データベースは中央閲覧のみ	市全域															

No.	事業名 【事業費：千円】	目的・内容	時期・回数	対象・人数
5	読書普及事業 【1,156】	読書に関する様々な講座・講演会を開催し、より広範囲な住民の図書館利用の促進と、読書の質的向上を図ります。		市全域
	(1) 児童奉仕推進事業 (57)	読書への導入として、乳幼児期から子どもの発達段階に応じた各種おはなし会を行います。 また、ボランティアを育成し、おはなし会の更なる充実を図ります。 ・おはなしのじかん ・えほんのへや ・わらべうたであそぼう ・すきすき絵本タイム ・出張おはなし会	通年  全館 中央・長浦・平川 中央・長浦 長浦 根形・平岡 保育所等	3歳～12歳 4歳～小学生 2・3歳児 0歳児～ 0歳児～ 市全域
		・『おはなし会ボランティア養成講座』初級編 講師 図書館職員 内容「おはなし会とは」「絵本の読み聞かせについて」「絵本の読み聞かせを行う」	中央 9月～11月 (全5回)	ボランティ ア
	(2) ブックスタート (698)	乳幼児期からの読書活動を推進するため、保健センターの4か月児教室開催時に、幼児向け絵本の読み聞かせを行いながら絵本などを手渡します。	保健センター 通年 (12回)	4か月児
	(3) 著者を囲む会 (101)	ふだん本でしか出会うことのない作家を招き、親しく作者の考えにふれることによって理解を深めます。 講師 未定	長浦	120人
	(4) 文芸講座 (81)	文芸作品をテキストとして、講師を招いて読解し、連続講座の中で作品の理解を深めます。 テーマ「アガサ・クリスティーの世界を楽しむ」 講師 数藤 康雄(すどう やすお)氏	中央 10月 (全4回)	各60人
	(5) 資料展示 (8)	図書館所蔵資料の中から特定のテーマのものを取り上げて展示することにより、ふだん目にふれにくい資料を紹介し、読書に対する興味を深めます。	通年 (6回)	
	(6) 視聴覚資料活用事業 (22)	図書館所蔵の視聴覚資料を有効に活用し、成人向けに名画鑑賞会、子ども向けに子ども映画会を行います。	通年 名画 46回 子ども21回	【定員】 中央 80人 長浦 120人 平川 30人
	(7) 夏のトシヨロ月間 (18)	夏休み期間中に、子どもの知的好奇心を刺激する講座や、親子で読書を楽しむ様々な催しを行い、図書館に親しみながら、将来の図書館を活用した生涯学習のための基礎をつくる場とします。	全館 7月～8月	
	(8) 秋のトシヨロ月間 (17)	読書週間(10月27日～11月9日)の前後に、市民がより読書と図書館に親しめるような様々な催しを行うとともに、図書館利用グループ等の学習成果発表の場を設けて、市民の交流の場とします。	全館 10月～11月	

No.	事業名 【事業費：千円】	目的・内容	時期・回数	対象・人数
	(9) 障がい者サービス (42)	図書館利用に障がいのある市民を対象に、宅配サービスや視覚障がい者が利用しやすい資料の提供等を実施します。	通年	
	(10) 本・雑誌リユースデー (5)	複本所蔵、内容の改訂等により除籍したした図書・雑誌を、学校や保育所等公共施設で再利用を図るとともに、ひろく市民の利用に供します。 (隔年開催)	長浦	
	(11) 社会教育推進員活用事業 (7)	市民のリーダーとして社会教育推進員を養成し、図書館事業に活用していくことで、地域の教育力の向上と新しい図書館づくりを目指します。  ・先進地図書館視察研修 山武市立成東図書館 山武市立さんぶの森図書館	会議 3回 5月・9月・2月  視察研修 6月27日	社会教育推進員13名  推進員・図書館ボランティア 18人参加

## 報告事項（２）袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修について

### 袖ヶ浦市立図書館協議会先進地視察研修実施要項

#### 1 日時

令和元年10月30日(水) 午前8時30分～午後4時

#### 2 視察先

##### (1) 立川市中央図書館

東京都立川市曙町2-36-2 ファーレ立川スクエア

##### (2) 日野市立日野図書館

東京都日野市日野本町7-5-14

#### 3 目的

立川市中央図書館では地域の課題解決型図書館ということで主にレファレンスを通じたビジネス支援に特化した事業を展開している。

日野市立日野図書館では地域の歴史を通じた学びの場を設けている。

地域の課題解決型図書館として先進的な事業を展開している両図書館の事例を視察し、本市の今後の図書館運営の参考とする。

#### 4 交通手段 市小型バス（定員29名）

#### 5 日程

中央図書館集合（8：30）

中央図書館発（8：40）－アクアライン－首都高速－中央道

・視察（1）立川市立中央図書館（10：30～12：00）

事業説明、施設見学

・昼食

・視察（2）日野市立日野図書館（13：30～14：30）

事業説明、施設見学

→中央道－首都高速－アクアライン－中央図書館着（16：00）

#### 6 参加費

実費(昼食代) 1,000円

別綴じ参考資料

「議題（２）平成３０年度袖ヶ浦市立図書館サービス状況点検・評価について」

○第３次袖ヶ浦市立図書館サービス網計画（後期：平成２８年度～令和２年度） サービス評価指標の実績・・・・・・・・・・・・・・・・	１
○平成３０年度図書館事業の実施報告・・・・・・・・	３
○平成３０年度図書館事業一覧・・・・・・・・	６
○平成３０年度図書館利用状況・・・・・・・・	８
○県内公立図書館サービス指標（平成２９年度）・・・・・・・・	１１
○県内主要図書館の利用状況推移・・・・・・・・	１２
○公共図書館統計（市区町村立図書館）・・・・・・・・	１２

第3次袖ヶ浦市立図書館サービス網計画【後期】サービス評価指標実績 太字:後期指標(細字:参考指標)

サービス内容	No.	サービス評価指標	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R2年度目標値	達成率 (実績/目標値)	
(1) 資料及び情報の収集、提供等	①	購入タイトル数／購入冊数(%)	—	85.0	83.0	85.5	85.2	90	94.7%	A
		・ 図書購入タイトル数(タイトル)	11,330	11,317	11,037	11,339	10,800	—	—	—
	②	蔵書冊数(所蔵図書冊数)	659,877	670,648	678,517	688,359	698,317	710,000	98.4%	A
		・ 蔵書数(点)(図書以外の資料を含む)	705,665	715,437	723,799	733,761	743,918	—	—	—
	③	市民一人当たりの蔵書冊数(冊)	10.7	10.8	10.9	10.9	11.0	11.1	99.1%	A
		・ 市民一人当たりの蔵書数(点)(図書以外の資料を含む)	11.4	11.5	11.6	11.6	11.7	—	—	—
	④	袖ヶ浦市関係資料の受入冊数(冊)	344	268	328	303	392	270	145.2%	A
	⑤	年間利用者数(人)	133,706	151,942	147,201	146,180	148,243	155,000	95.6%	A
	⑥	市民新規登録者数(人)	1,052	1,046	1,128	1,159	1,165	1,200	97.1%	A
	⑦	市民登録率(%)	46.1	45.1	44.4	43.3	42.5	60.0	70.8%	A
⑧	資料貸出数(点)ー市外含む総計	594,661	583,404	561,459	542,863	548,560	650,000	84.4%	A	
⑨	市民一人当たりの貸出数(点)	9.6	9.4	9.0	8.6	8.6	10.2	84.3%	A	
(2) 社会情勢の変化に対応したサービスの充実	⑩	一日あたりのホームページアクセス件数(件/日)	238	271	253.1	251.2	255.6	315	81.1%	A
	⑪	一ヶ月あたりのWeb予約件数(件/月)	2,006	2,140	2,352.3	2,530.7	2,756.4	2,250	122.5%	A
		・ メールマガジン登録者数(人)	—	64	93	134	167	—	—	—
		・ ホームページ閲覧総数(回/月)	—	253,569.0	341,644.8	409,220.7	595,455.9	—	—	—
	⑫	学校図書館への対応								
	-1	団体貸出総冊数(冊数/年)◆	4,752	6,015	3,885	3,034	3,270	3,000	109.0%	A
		・ 団体貸出(冊)	2,506	4,765	3,185	2,784	2,368	—	—	—
		・ 団体貸出(件数)	147	130	122	115	134	—	—	—
		・ 読み物・絵本セットの貸出(冊数)	2,246	1,250	700	250	902	—	—	—
	-2	出張おはなし会参加者数(人)◆	5,792	5,777	4,583	3,492	6,013	5,000	120.3%	A
⑬	レファレンス件数(件)	669	795	851	916	1,139	800	142.4%	A	

サービス内容	No.	サービス評価指標	H26年度実績	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度実績	R2年度目標値	達成率 (実績/目標値)	
(3) 利用者に応じたサービス	⑭	児童サービスの充実								
	-1	ブックスタートにおける本の配布率(%)*	—	—	92.8	84.6	82.7	100	82.7%	A
	・	ブックスタート(回/年)	26	26	7	12	18	—	—	—
	-2	おはなし会参加者数[館内・館外の合計](人)◆	11,828	12,033	10,580	8,917	12,516	12,000	104.3%	A
	・	わらべうた・えほんのへや	34	36	33	33	35	—	—	—
	・	おはなし会(館内)	95	103	92	99	108	—	—	—
	・	おはなし会(館外)	360	371	326	282	366	—	—	—
	・	子ども映画会(回)	22	23	24	23	22	—	—	—
	-3	お薦め本リストの発行(回/年)	4	4	4	4	4	4	100.0%	A
	⑮	青少年サービスの充実(YAお薦め本リストの発行)	1	1	1	1	1	1	100.0%	A
	-2	青少年サービスの充実(ジュニアお薦め本リストの発行)	1	1	1	1	1	1	100.0%	A
	⑯	高齢者サービスの充実								
	-1	大活字本の貸出冊数(冊/年)	4,388	4,077	4,419	4,254	4,123	5,000	82.5%	A
	・	大活字本 所蔵タイトル数(タイトル)	1,020	1,057	1,107	1,152	1,195	—	—	—
	・	名画鑑賞会(回)	51	52	53	44	46	—	—	—
	・	名画鑑賞会参加者数(人)	2,325	2,536	2,774	2,239	2,434	—	—	—
	・	朗読CD 所蔵タイトル数(タイトル)	551	567	596	631	659	—	—	—
	⑰	障がい者サービスの充実(宅配サービス 冊)	322	408	388	339	359	350	102.6%	A
	⑰	図書館ボランティアの育成(名)	—	36	59	71	74	70	105.7%	A
	・	おはなし会ボランティア	22	19	23	21	21	—	—	—
	・	朗読ボランティア	4	4	4	4	4	—	—	—
	・	ブックスタートボランティア*	15	13	22	29	28	—	—	—
	・	映画会ボランティア	—	—	9	12	13	—	—	—
・	展示ボランティア	—	—	—	4	6	—	—	—	
・	その他のボランティア	—	—	1	1	2	—	—	—	
⑲	来館者満足度(%)	61.3	未実施	76.8	未実施	78.2	75	104.3%	A	

\* H25～27年度は「すきすき絵本タイム」として実施。平成27年度目標値及び実績は開催回数

◆ 【平成30年11月改定】学校図書館、学校ボランティア活動の充実を勘案し、目標値を変更した。

# 平成30年度図書館事業の実施報告

## 1 平成30年度図書館事業の総括

### 事業の総括

図書館では、平成30年度経営方針に基づき、市民の多種多様、高度化する学習要求に応えるための条件整備を図り、「いつでも、どこでも、誰でも、どんな資料でも」利用できる、身近で親しみのある図書館運営に努めるとともに、「市民の書齋として、思索の場として、そして市民のふれあいの場として」さらに充実した図書館づくりを目指し、5つの重点施策を推進しました。

## 2 重点施策に対する事業の成果

### (1) 図書館資料の充実

- ・新刊図書の購入に加えて、郷土行政資料の寄贈を積極的に呼びかけたことにより、開架書架の図書318,582冊に対して13,866冊（うち購入12,672冊）を受入し、約4.4%を更新することが出来ました。また、新聞、雑誌等の逐次刊行物、CD、DVD等の視聴覚資料及び調査研究用のマイクロフィルムやデータベースについて、継続的な収集と提供に努めました。また加入している視覚障がい者用のデータベースを活用し、図書館利用に障害のある人が利用しやすい資料を提供しました。
- ・袖ヶ浦市関連の新聞記事索引を毎月ホームページ上で公開し、地域情報を充実させました。
- ・教養や調査研究等に資する情報提供と図書館資料の活用を推進するため、おすすめ図書を成人向けに2種類、児童向けに4種類、パスファインダー（調べ方案内）を一般向けに1種類、児童向けに1種類作成し、館内でのリスト配布や図書館ホームページを通じて広く市民に紹介しました。
- ・中央図書館、長浦おかのうえ図書館、平川図書館では、毎月テーマを決めた特設コーナーを設置し、おすすめ本の紹介を行いました。

### (2) 乳幼児期からの読書活動の推進

- ・定例のおはなし会を所定の時間内で好きな時間に参加できる「おはなしのじかん」と改め、子ども映画会等の子ども向けの催しとタイアップして行うほか、学校や保育所等への出張おはなし会、公民館図書室のふれあい読書コーナーを活用した「すきすき絵本タイム」を実施しました。
- ・「おはなし会ボランティア養成講座初級編」を開催し、絵本の読み聞かせボランティアを養成しました。
- ・4か月児教室を会場に乳児と保護者が絵本を介して向かい合い、暖かい言葉のふれあいをもつことの大切さを伝えるため、ボランティアが読みきかせを行った後に絵本を配布する「ブックスタート事業」を開催しました。
- ・子ども読書の日の前後には「子ども読書の日記念行事」として全館でスタンプラリーを開催したほか、おすすめ図書の展示や関連リストの配布を実施しました。「夏のトショロ月間」では、社会教育推進員が企画した「マザーグースであそび」「はらぺこあおむしの手づくり工作」、おはなし会や子ど

も映画会、将棋教室など子どもが図書館に親しめる事業を多数開催しました。

- ・学校図書館等との連携事業として、「夏のトショロ月間」で開催した「なつやすみとしょかんであそぼう」の中で、袖ヶ浦高等学校の生徒がおはなし会ボランティアと一緒に絵本の読み聞かせを行いました。また、中央図書館児童室での「昭和中学校の図書委員会によるおすすめ図書の紹介と児童室の飾り付け」や、長浦おかのうえ図書館市民ギャラリーでの「蔵波中学校美術部生徒による作品展示」を行いました。

「秋のトショロ月間」では、袖ヶ浦高等学校図書委員の中央図書館青少年コーナーでの「おすすめ本ディスプレイの展示」や、平川図書館では「平川中学校図書委員&1年生によるおすすめ本の展示」などを開催しました。

### (3) 高齢化社会に対応した図書館サービスの充実

- ・大活字本や視聴覚資料等、高齢者が利用しやすい資料を積極的に収集しました。
- ・集会事業としては、定期的に視聴覚資料を活用した名画鑑賞会を開催したほか、「秋のトショロ月間」では、映画会ボランティアが企画した「映画のグルメ映画と食のステキな関係」や社会教育推進員の企画で歌舞伎「義経千本桜」のビデオ上映を行いました。中央図書館では、認知症関連図書のコーナーを9月に設置し、長浦おかのうえ図書館では高齢者支援課との共催で講演会「図書館を活用した認知症予防」を開催しました。

### (4) 情報化社会に対応した電子図書館サービスの充実

- ・市民の調査研究を支援するため、ビジネス情報の充実した日本経済新聞記事検索データベース「日経テレコン 21」、朝日新聞記事検索データベース「聞蔵Ⅱテキスト」、官報、法情報データベースD1-LOW、「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」、を提供し、また国立国会図書館デジタルコレクション歴史的音源の配信サービスの利用を開始しました。
- ・月1回のメールマガジンの配信と、9月からは図書館公式ツイッターでの情報発信を随時行い図書館及び図書館資料に関する情報提供の充実を図りました。

### (5) 図書館運営への市民参加の推進

- ・図書館のサービス状況について、図書館協議会の協力を得ながら点検・評価を行い、その結果をホームページ上に公開することにより、運営状況に関する情報を積極的に市民に提供しました。
- ・「夏のトショロ月間」、「秋のトショロ月間」では主催事業だけでなく、グループサークルによる発表会や作品展示、市内小中学校生徒の作品展示も行いました。また、来館者に新たな本との出会いを提供するために企画した本のおたのしみ袋、長浦では「本でタイムトラベル」の展示で多数の貸出がありました。
- ・社会教育推進員や図書館ボランティアとともに事業を実施することで、市民との協働を推進することができました。おはなし会ボランティア養成講座初級編のほか、映画会ボランティア説明会、資料展示ボランティア説明会を開催し、

図書館ボランティアを増員しました。映画会ボランティアは千葉市生涯学習センターへの視察研修を行い、他市のボランティアと情報交換を図ることができました。

- ・利用者アンケートや読書普及事業の講座において参加者にアンケート調査を実施し、事業の運営の参考にするとともに、名画鑑賞会では懇談会を実施し、参加者相互のコミュニケーションを図りました。

#### (6) 利用者ニーズに沿った施設の改修と整備

計画的な施設改修の実施

- ・利用者ニーズに沿った施設の改修と整備

図書館建設後の期間経過とともに施設の老朽化が進行していることから、改修工事

を実施し、施設の長寿命化を図りました。

- ・中央図書館のエレベーターの改修工事を実施しました。
- ・長浦おかのうえ図書館の防災複合盤の更新工事を実施しました。

#### (7) 利用者ニーズ、利用実態の把握

- ・市民に親しまれる図書館運営の一環として、多くの市民が利用しやすく、安心、安全で快適な読書環境づくりを推進しました。
- ・中央図書館の中庭を活用し、「秋のトショロ月間」で「トショロの庭Tea Time」として、絵本の読み聞かせや封筒づくりを行い好評でした。
- ・中央図書館の閲覧室を自習にも開放しました。
- ・利用者アンケートを実施した結果、図書館全体の満足度については「満足」「やや満足」が78.2%でした。

平成30年度図書館事業一覧

No.	事業名 【事業費：千円】	実施時期・回数等	実績・参加人数等
1	図書館協議会関係費 【183】	委員 10名 会議 3回 第1回 (1) 「平成29年度図書館サービス状況の点検・評価について」ほか (7月11日) 第2回 (1)平成30年度図書館利用者アンケートからの課題について (2)第3次袖ヶ浦市立図書館サービス網計画（後期）目標値の一部変更について(11月7日) 第3回 (1) 正・副委員長の選出について (2) 平成30年度図書館事業の成果と課題について (3)平成31年度図書館経営方針及び重点施策について (平成31年2月5日)	10名 8名 8名
2	図書館運営事務費 【53,684】	開館日数 中央・長浦 297日 平川・根形・平岡 302日	個人貸出利用者数 148,243人 個人貸出点数 548,560点 市民1人当り貸出点数 (全資料) 8.6点
		団体貸出	延べ利用数 380団体 貸出冊数 4,553冊
3	図書館資料購入費 【29,011】	通年	市民1人当り蔵書点数 (全資料) 11.7点
	(1) 図書購入 (23,610)	中央 5,121冊 長浦 5,476冊 平川 1,435冊 根形 311冊 平岡 329冊 計 12,672冊	
	(2) 視聴覚資料購入 (428)	CD 122点 DVD 11点 計 133点	
	(3) マイクロフィルム購入 (342)	朝日・毎日・読売新聞（千葉版） 千葉日報・新千葉新聞 計 23巻	
	(4) 新聞・雑誌 購入 (2,831)	中央 <新聞> 12紙 <雑誌> 87誌 長浦 10紙 56誌 平川 4紙 25誌 計 26紙 168誌	
	(5) その他 (1,800)	官報情報データベース 法律情報データベース 図書データ作成、図書装備ほか	
4	電算処理事業 【14,534】	図書館業務用ソフト及び電算機器一式賃借 新聞記事データベース（朝日・日経） 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス れきおん（歴史的音源配信サービス） メールマガジン配信（月1回） 公式ツイッター開始	年間ホームページアクセス件数 トップページ 93,293件 総ページ 7,145,471件 年間ウェブ予約件数 33,077件

No.	事業名 【事業費：千円】	実施時期・回数等	実績・参加人数等
5	読書普及事業 【1,024】		
	(1) 児童奉仕推進事業 (34)	「子ども読書の日」記念行事 (スタンプラリーを実施 スタンプ20個でトショロシール スタンプ 50個で手製マグネットをプレゼント 4月14日～5月13日)	シールプレゼント228枚 マグネットプレゼント 84個 台紙配布 901枚
		おはなし会 (135回)	1,995人
		夏休みおはなし会 (6回)	109人
		えほんのへや (20回)	116人
		わらべうたであそぼう (12回)	251人
		すきすき絵本タイム (7回)	113人
		なつやすみとしょかんであそぼう (8月1日)	187人
		秋のおはなし会 (11月10日)	41人
		春休みおはなし会 (3月26日)	175人
		出張おはなし会 (28か所・366回)	10,215人
		おはなし会ボランティア養成講座 (9月～11月・全5回)	99人
	(2) ブックスタート (669)	個別の絵本読み聞かせ、ブックスタートパックの配布 (保健センター の4か月児教室開催時 月1回 通年)	477個配布
	(3) 子どもの本の講座 (101)	「絵本の読み聞かせについて～絵本は愛の体験です～」 (6月24日) 絵本作家・児童文学研究家 松居 友氏	58人
	(4) 文芸講座 (81)	「夏目漱石を読む～漱石文学に描かれた心象風景を中心に～」 (11月～12月・全4回) 講師 東洋学園大学教授 増満 圭子氏	197人
	(5) 資料展示 (14)	通年(6回) 資料展示ボランティア説明会 (11月30日)	
	(7) 視聴覚資料活用事業 (23)	名画鑑賞会・その他上映会 47回 (中央14回・長浦26回・平川7回) 子ども映画会 22回 (中央8回・長浦7回・平川7回) 映画会ボランティア説明会(11月21日) 映画会ボランティア視察研修 (11月8日)	名画鑑賞会・その他 2,568人 子ども映画会 534人
	(8) 夏のトショロ月間 (22)	「トショロと夏をぼうけんしよう！」 (7月21日～8月26日) ・はらべこあおむしの工作教室、書庫探検、将棋体験教室、理科教 室、紙花教室、参加企画「おしえて！きみのすきなほん」ほか	1,364人
	(9) 秋のトショロ月間 (32)	「読書の秋！そうだ、図書館へ行こう！」 (10月27日～11月25日) ・中庭イベント「トショロの庭 Tea TIME」、講演会「井原 西鶴の描いた恋と愛」、「図書館を活用した認知症予防」「本でタイ ムトラベル」、本のおたのしみぶくろ ほか	1,359人
	(10) 障がい者サービス (43)	・宅配サービス 利用登録 11名 ・デイジー図書の作成、宅配	宅配 71回・359点 うちデイジー図書 80点
	(11) 社会教育推進員活 用事業 (5)	社会教育推進員13名 会議 3回 (5月10日・9月25日・3月7日) 先進図書館視察 武蔵野市立武蔵野プレイス (6月22日)	

平成30年度図書館利用状況

(1)貸出点数

開館日数 中央・長浦 297日、平川・根形・平岡302日

	中央	長浦	平川	根形	平岡	合計
一般書	137,400	156,750	25,608	9,794	6,061	335,613
児童書	73,644	65,953	12,736	4,509	3,388	160,230
雑誌	12,329	12,877	2,486	2,486	803	30,981
視聴覚	7,998	11,783	1,614	275	66	21,736
個人合計	231,371	247,363	42,444	17,064	10,318	548,560
団体貸出						4,553
貸出総数						553,113点

(2)利用者数等

袖ヶ浦市人口(平成31年3月31日現在) 63,704人

中央	64,183人	市民1人当たりの貸出点数	8.6点
長浦	61,890人	登録者総数	38,083人
平川	11,975人	市民登録率 (登録者数 27,061人)	42.5%
根形	6,662人	予約・リクエスト処理点数	53,345点
平岡	3,533人	うち、未所蔵 6,042冊(購入 2,315冊・他館借用 3,727冊)	
		レファレンス処理件数	1,139件
		資料複写件数	1,041件 5,225枚
		ホームページアクセス件数	93,293件
		映画会参加者数(中央)	22回 649人
個人合計	148,243人	" (長浦)	33回 2,081人
		" (平川)	14回 332人
団体貸出	延べ 380団体	おはなし会参加者数(図書館)	143回 2,301人
		" (出張)	366回 10,215人
		障がい者への宅配による資料貸出	71回 359冊

(3)図書分類別蔵書冊数

(平成31年3月31日現在)

	一般書	児童書	合計
総記	20,432	1,818	22,250
哲学	17,847	737	18,584
歴史	53,016	5,332	58,348
社会科学	87,027	4,994	92,021
自然科学	38,433	14,860	53,293
工学	57,270	5,120	62,390
産業	21,849	3,105	24,954
芸術	48,468	6,059	54,527
語学	9,015	982	9,997
文学	183,596	46,637	230,233
絵本	—	70,111	70,111
紙芝居	—	1,609	1,609
合計	536,953	161,364	698,317

図書以外の資料

雑誌	23,475冊
カセットテープ	1,992点
レコード	291点
コンパクトディスク	10,061点
ビデオテープ	3,784点
レーザーディスク	1,373点
DVD	1,362点
マイクロフィルム	1,451巻
地図	1,812点
合計	45,601点

資料総合計 743,918点  
(市民1人当たり 11.7点)

## (4) 平成30年度ベストリーダー10

## 一般書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	おらおらでひとりいぐも	若竹 千佐子	156	10
2	魔女の胎動	東野 圭吾	139	7
3	マスカレード・ナイト	東野 圭吾	127	7
4	ラブラスの魔女	東野 圭吾	116	8
5	蜜蜂と遠雷	恩田 陸	115	6
6	コンビニ人間	村田 沙耶香	107	6
7	人魚の眠る家	東野 圭吾	106	7
8	かがみの孤城	辻村 深月	101	6
9	素敵な日本人	東野 圭吾	100	7
10	危険なビーナス	東野 圭吾	98	7

## 児童書

順位	書名	著者	貸出回数	複本数
1	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやま けん	240	23
2	おべんとう	小西 英子	190	16
3	わにわにのごちそう	小風 さち	188	20
4	くだもの	平山 和子	186	40
5	がたんごとんがたんごとん	安西 水丸	176	29
6	はらぺこあおむし	エリック=カール	174	16
7	サンドイッチサンドイッチ	小西 英子	162	19
8	いちご	平山 和子	161	35
8	バーバパパのジュースづくり	アネット・チゾン	157	24
10	ちいさなねこ	石井 桃子	149	16

## (5) 平成30年度予約ベスト10

## 一般書

順位	書名	著者	予約回数	複本数
1	すぐ死ぬんだから	内館 牧子	102	5
2	沈黙のパレード	東野 圭吾	100	5
3	未来	湊 かなえ	98	5
4	かがみの孤城	辻村 深月	81	6
5	魔女の胎動	東野 圭吾	69	7
6	青空と逃げる	辻村 深月	67	4
6	ファーストラヴ	島本 理生	67	4
8	下町ロケット ゴースト	池井戸 潤	64	5
9	昨日がなければ明日もない	宮部 みゆき	62	6
10	万引き家族	是枝 裕和	61	3

## 児童書

順位	書名	著者	予約回数	複本数
1	私鉄特急100点	広田 尚敬	27	1
2	おしりたんてい ププッおodorぼうあらわる!	トロール	19	1
2	おしりたんてい ププッレインボーダイヤをさがせ!	トロール	19	1
2	新私鉄特急・急行100点	広田 尚敬	19	1
2	のりもの2000	小賀野 実	19	5
6	家のちかくでよく見る電車100点	広田 尚敬	18	1
6	おしっこちょびりもれたろう	ヨシタケ シンスケ	18	1
6	おしりたんてい	トロール	18	1
6	君たちはどう生きるか	吉野 源三郎	18	2
6	すごいね! みんなの通学路	ローズマリー・マカーニ	18	5

## (6) 平成30年度蔵書点検結果

平成31年3月31日現在

中央	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	H30～	H29～	H28～	H27～	H26～
①	310,210点	298点	38点	43点	20点	94点	103点
	不明比率	0.10%	0.01%	0.01%	0.01%	0.03%	0.03%

長浦	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	H30～	H29～	H28～	H27～	H26～
②	344,110点	131点	43点	15点	15点	16点	42点
	不明比率	0.04%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.01%

平川	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	H30～	H29～	H28～	H27～	H26～
③	51,026点	161点	47点	13点	46点	32点	23点
	不明比率	0.32%	0.09%	0.03%	0.09%	0.06%	0.05%

根形	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	H30～	H29～	H28～	H27～	H26～
④	16,597点	2点	2点	0	0	0	0
	不明比率	0.01%	0.01%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%

平岡	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	H30～	H29～	H28～	H27～	H26～
⑤	16,133点	10点	0	1点	0	9点	0
	不明比率	0.06%	0.00%	0.01%	0.00%	0.06%	0.00%

学校用	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	H30～	H29～	H28～	H27～	H26～
⑥	5,842点	32点	点	点	31点	1点	点
	不明比率	0.00%	0.00%	0.00%	0.53%	0.02%	0.00%

合計	蔵書点数	不明資料		点検不明年度内訳			
		累計	H30～	H29～	H28～	H27～	H26～
①～⑥計	743,918点	634点	130点	72点	112点	152点	168点
	不明比率	0.09%	0.02%	0.01%	0.02%	0.02%	0.02%

※蔵書点数(在架資料点数)は、除籍予定の資料を含まないで算出。

※点検不明年度から5年を経過した資料は、6年目に除籍。(平成30年度実績 350点)

## (7) 平成30年度長期延滞資料督促実績

年間実績	累計		
a 督促電話人数	759人		
b 電話による返却人数	478人	電話による返却率 b/a	63.0%
c 督促ハガキ送付人数	281人	ハガキによる返却率 (c-d)/c	79.4%

年度末(蔵書点検後)	対象： H29. 10. 1～H30. 9. 30返却期限の延滞者		
d 督促ハガキ送付人数	58人	内訳：袖ヶ浦 48, 木更津 5, 市原 2, 君津 3	
e 督促対象資料点数	202点	内訳：袖ヶ浦 156, 木更津 19, 市原3, 君津 24	

県内公立図書館サービス指標(平成29年度)

項目	個人貸出登録率	人口1人あたり			人口1,000人あたり
		個人貸出冊数	蔵書冊数	図書費(29年度決)	
市町村平均	32.1%	5.18冊	3.15冊	159円	111.0冊
市町村合計	1,928,959人	31,118,647冊	18,934,745冊	956,760千円	666,208冊
多々酒船松旭	31.5	4.70	3.00	155	104.0
鴨野印富東南流浦千東市茂	31.0	4.69	2.86	146	103.5
勝館	30.9	4.65	2.83	145	97.1
	30.8	4.45	2.76	141	93.4
	30.4	4.37	2.66	134	90.9
	29.9	4.16	2.61	134	90.5
	29.7	4.11	2.61	132	90.1
	29.4	3.89	2.56	128	87.9
	29.1	3.80	2.48	124	86.4
	27.9	3.44	2.46	120	86.3
	27.7	3.16	2.31	117	84.5
	27.0	3.02	2.29	111	82.8
	26.3	2.99	2.28	111	82.0
	25.6	2.99	2.18	111	82.0
	25	2.88	2.18	103	81.4
	22.4	2.80	2.09	96	75.4
	19.3	2.60	1.97	91	75.2
	18.8	2.43	1.78	88	72.5
	18.8	2.09	1.65	88	72.5
	16.4	1.56	1.21	80	47.8
		1.55		59	
		1.04			

- (注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた  
 2 人口の数値は、千葉県毎月常住人口調査月報より(平成30年4月1日現在) 袖ヶ浦市62,161人  
 3 市町村平均・市町村合計欄の数値は、39市町村の平均・合計である  
 4 図書費には臨時的経費のうち図書費を含む  
 5 個人貸出登録率は累計で自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による  
 (\*印は、自治体内数)  
 6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある

県内主要図書館の利用状況推移 「千葉県の図書館2018」(千葉県公共図書館協会発行)より

	個人貸出冊数				登録者数				人口(「千葉県毎月常住人口調査月報」による)			
	H27年度	H28年度	H29年度	H27年度		H28年度		H29年度		H28.4.1	H29.4.1	H30.4.1
	登録者数	登録者数	登録者数	登録者数	登録率%	登録者数	登録率%	登録者数	登録率%			
袖ヶ浦	583,404	561,459	542,863	28,059	45.9	27,690	45.2	27,385	44.1	61,069	61,300	62,161
市原	1,518,279	1,454,744	1,430,156	130,027	47.5	133,570	48.9	136,933	50.4	273,924	273,213	271,665
木更津	430,132	413,101	408,335	76,261	56.8	77,957	57.8	79,603	58.9	134,281	134,803	135,162
君津	817,001	764,977	733,622	36,799	43.1	36,443	43.1	32,001	38.3	85,473	84,570	83,633
茂原	305,063	289,321	278,956	17,627	19.7	16,152	18.2	17,084	19.3	89,353	88,948	88,324
千葉	3,825,149	3,695,380	3,791,419	261,336	26.9	254,596	26.1	249,853	25.6	973,289	973,856	975,669
浦安	2,056,074	1,992,908	1,926,558	44,275	26.7	45,370	27.1	44,516	26.3	165,704	167,694	169,083
船橋	2,209,872	2,387,614	2,637,076	193,687	31.0	195,465	31.1	195,808	30.9	624,473	629,065	633,263
市川	2,783,731	2,663,609	2,596,814	124,282	25.7	116,161	23.8	109,805	22.4	483,749	487,991	491,214
成田	1,317,221	1,280,895	1,248,284	41,322	31.5	40,837	31.0	45,288	34.2	131,302	131,770	132,304

\*貸出冊数は視聴覚資料等を含む。\*登録者は累計で、自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による。(袖ヶ浦は市内登録者のみ)

公共図書館統計(市区町村立図書館)

「図書館年鑑2018」(日本図書館協会発行)より

年度	図書館総数	専任職員数(人)	年間収集冊数(万冊)	個人貸出数(万点)	資料費決算額(億円)
2017	3,215	8,691	1,532	67,421	256.62
2016	3,203	8,869	1,542	68,563	257.84
2015	3,182	8,955	1,515	67,260	254.05
2014	3,166	9,345	1,620	67,677	257.20
2013	3,168	9,583	1,641	69,267	256.81
2012	3,154	9,999	1,744	69,628	261.68
2011	3,129	10,072	1,666	69,705	265.38
2010	3,107	10,413	1,683	69,218	278.13
2009	3,082	10,959	1,739	67,246	275.38
2008	3,044	11,336	1,727	63,765	276.66

は、過去10年間の最大値

\*貸出点数は、視聴覚資料を含む

\*資料費は、経常的経費

順位	〈人口6万人以上8万人未満の市区〉	
	自治体名	個人貸出数(千点)
1	笠間市(茨城県)	1,097
2	三木市(兵庫県)	980
3	守谷市(茨城県)	952
4	京田部市(京都府)	880
5	多賀城市(宮城県)	876
6	田原市(愛知県)	765
7	甲斐市(山梨県)	656
8	塩尻市(長野県)	651
9	木津川市(京都府)	643
10	栗東市(滋賀県)	642
17	袖ヶ浦市(千葉県)	562
平均	105市区	388

袖ヶ浦市

蔵書冊数 : 1位

資料費・決算額 : 9位